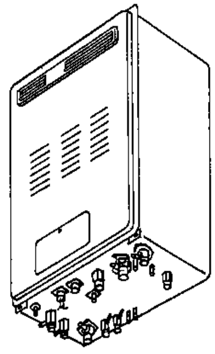
EK0306

# 給湯暖房用熱源機

## 取扱説明書

| 型 式 名 | 大阪ガス機器コード | BL品番 | 機能 |
|---|---|---|---|
| TP-SPD165AZR-1 | − | XT-246RSA-AWQ | 暖房スイッチ有 |
| TP-SPD165AZR-1 | 44-120 | XT-246RSA-AWQ | 暖房スイッチ無 |
| TP-SPD165AZR-1 | 44-125 | XT-246RSA-AWQ | 暖房スイッチ有 |



このたびは給湯暖房用熱源機をお買い上げいただきましてありがとうございます。

●ご使用になる前に、この取扱説明書をよくお読みいただき十分理解したうえで正しくご使用ください。

●別添の保証書とともに、この取扱説明書をいつでもご覧になれるところへ大切に保管してください。

●取扱説明書を紛失された場合は、お買い上げの販売店または、最寄りのガス会社へご連絡ください。その際、機器本体の銘板をご覧のうえ、型式名・製造年月をお知らせください。

## もくじ


●ごあいさつ・もくじ ―― 1
●特長・機能の紹介 ―― 2
●安全に正しくお使いいただくために ―― 5
●必ずお守りください ―― 6

●各部の名まえと扱い方 ―― 14
●初めてお使いいただくときに ―― 20
●使用方法 ―― 21

●故障かな？と思ったら ―― 46
●点検・お手入れ ―― 50
●寸法図 ―― 52
●仕様 ―― 54
●保管とアフターサービス ―― 55


ご使用前に

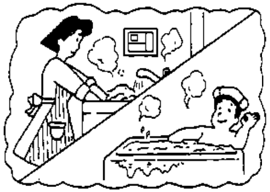
使用方法

故障かな？と思ったら、

# 特長・機能の紹介

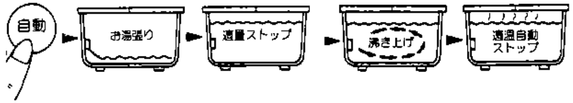
## ■給湯もふろ沸かしも暖房もこれ１台でOKです。

給湯器、ふろがま、暖房熱源機を一体にした１台で３役の
給湯暖房用熱源機です。



## ■スイッチ、ポンでおふろの沸き上げができます。(27ページをご覧ください。)

栓をして、ふたをして「自動」スイッチを押せば、あらかじめセットしておいた湯温、湯量で沸き上げます。
お湯の入れ過ぎ、沸かし過ぎがありません。

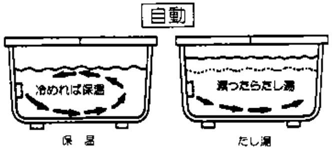



## ■上下の湯温差が少ない。

浴槽のお湯はポンプによって循環しているのでほぼ均一に沸き上がります。

## ■湯温と水位は機器におまかせ。(31ページをご覧ください。)

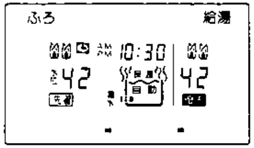
「自動」スイッチを押しておけば、約４時間はお湯が冷めれば自動で保温、
お湯が減れば自動でたし湯します。



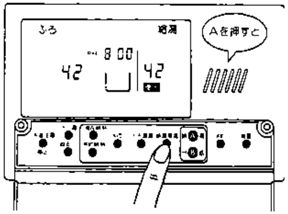



## ■浴室リモコンは、見やすいカラー蛍光表示。

(16ページをご覧ください。)

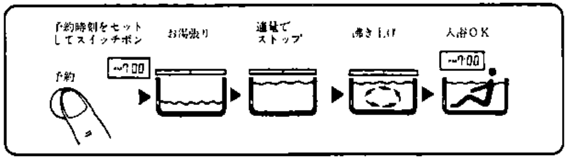



## ■音声ガイドで、リモコン操作は簡単。




## ■お好きな時刻におふろに入れる予約タイマーがついています。

(37ページをご覧ください。)




(予約完了時刻は目安です。水温や浴槽の大きさにより、前後することがあります。)

## ■ミキシング機構を内蔵し、給湯断続使用時の湯温の安定性を向上させました。

## 特長・機能の紹介

### ■暖房能力は最大14.0kW(12,000kca/h)の比例制御方式。

5～6室までの同時使用ができます。暖房負荷に応じて自動的に火力を調節します。しかもお部屋の空気を汚さない、クリーンな温水暖房です。(数値は13Aの場合)

### ■別売の増設リモコン(TP-MZ08)を取り付けますと、浴室以外の台所や部屋からも操作(一部の操作)ができます。

### ■別売品の洗濯注湯システム(36-046型/TP-RV25)を取り付けますと、お湯での洗濯が容易にできます。

**お湯で洗濯するときれいになります。**

# 安全に正しくお使いいただくために

## 表示について

この取扱説明書では、機器を正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

| | |
|---|---|
| ⚠ 危険 | この表示を無視して、誤った取扱いをすると、使用者等が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容を示しています。 |
| ⚠ 警告 | この表示を無視して、誤った取扱いをすると、使用者等が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。 |
| ⚠ 注意 | この表示を無視して、誤った取扱いをすると、使用者等が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。 |

一般的な禁止　火気厳禁　触れるな　分解禁止

必ず行う　電源プラグを抜け　アースを接続せよ

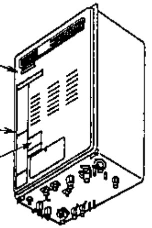
| | |
|---|---|
| ご注意 | 注意していただきたい内容を示しています。 |
| (○○ページ) | 文章中の（ ）内のページは参照ページを示しています。 |

## 機器本体の表示について

**やけど注意**
排気口や周囲が高温になるためやけど注意を表示しています。

**使用上のご注意**
使用上の注意について表示しています。

**銘　板**
型式名・使用ガスの種類・製造年月・製造事業者等を表示しています。



# 必ずお守りください

安全に正しくお使いいただくために、この項は必ずお読みください。

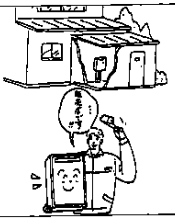
## ⚠危険

### ■屋外用ガス機器

●この機器は屋外用ですので絶対に屋内に設置しない。不完全燃焼をおこし、大変危険です。

## ⚠警告

### ■機器設置（および付帯工事）




●この機器は屋外設置形ですので、増改築などによって屋内状態にしない。また、排気口の前方に物を置いたり、設置後機器を波板などで囲いをしない。不完全燃焼の原因や火災のおそれがあります。

●機器の設置・移動および付帯工事は、お買い上げの販売店またはガス会社に依頼し、安全な位置に正しく設置して使用する。設置工事に不備があると事故の原因となります。

### ■ガス漏れ時の処置

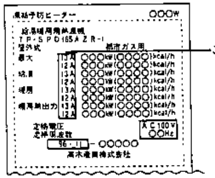
●ガス漏れに気づいたときは全ての処置が終わるまでの間、絶対に火をつけたり電気機器（換気扇その他）のスイッチの入・切や電源プラグの抜き差しおよび周辺の電話を使用しない。
炎や火花で引火し火災になることがあります。
①すぐに使用をやめ、ガス栓を閉める。
②お買い上げの販売店またはガス会社へ連絡する。

### ■使用ガス・使用電源について

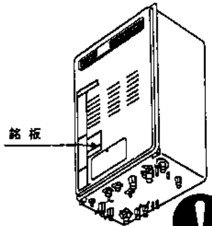
●銘板（機器前面に貼付）に表示してあるガス（ガスグループ）および電源（電圧・周波数）以外では使用しない。表示以外のガスを使用すると不完全燃焼および爆発点火の原因となります。

○転宅されたときにも、供給ガスの種類と銘板のガスの種類の一致を必ず確かめてください。

○この機器はＡＣ100Ｖ、50/60Hz共用です。
お宅の電源の電圧と周波数が一致しているかお確かめください。




製造年月を表示しています。
(例)96.11→1996年11月の製造



## ⚠警告

### ■火災予防

〔可燃物に注意〕

●機器および排気口の周囲に燃えやすいものを置かない。
火災の原因となります。

●排気口は洗濯物などでおおわない。
不完全燃焼の原因となります。

〔スプレー缶厳禁〕

●機器の周囲にスプレー缶を置かない。
熱でスプレー缶の圧力が上がり爆発のおそれがあります。

〔引火のおそれがあるものの使用禁止〕

●機器の周囲ではガソリン、ベンジン、スプレーなど引火のおそれのあるものを使用しない。
引火・爆発の原因となるおそれがあります。

### ■給湯・シャワーを使うとき

●お湯を止めたときに再使用するときや、お湯の量を急に少なくしたとき、あるいは万一、機器の故障の際には一瞬、熱いお湯がでることがあります。やけどの危険性がありますので、出始めのお湯は手や体にかけない。

●シャワーを使うときに最初に熱いお湯が出ることがありますので十分注意する。

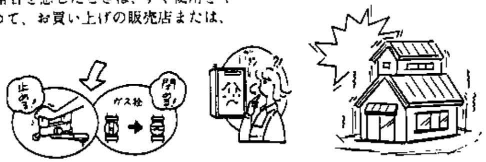
●シャワーを使うときは、あらかじめ手で温度を確かめてから使う。やけどのおそれがあります。

●シャワー、給湯の使用中は、使用者以外はお湯の温度を変更しない。突然、熱湯や冷水が出て、熱湯でやけどしたり冷水でビックリすることがあります。

### ■異常時の処置

●万一、異常な燃焼、臭気、異常音を感じたときは、すぐ使用をやめ、ガス栓・給水元栓を閉めて、お買い上げの販売店または、ガス会社へ連絡する。

●地震、火災などの緊急のときは使用をやめ、ガス栓を閉める。



### ■子供に対する注意

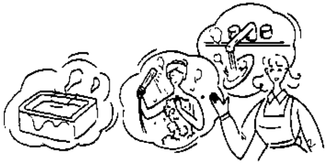
●浴槽の循環口の吸い込み口付近で水に潜ったりしない。思わぬ事故につながることがあります。特に、小さなお子さまのいるご家庭ではご注意ください。

# 必ずお守りください

## ⚠注意

### ■用途についての注意

● 一般家庭での台所・シャワー・洗面所などへの給湯、おふろ沸かし、暖房および洗濯注水以外の用途には使用しない。
思わぬ事故の原因となることがあります。

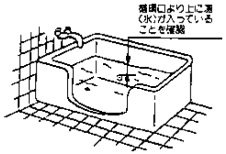


### ■やけどに注意

●機器の使用中、または使用後しばらくは排気口とその周辺に絶対に手を触れたりしない。特に小さなお子様のおられるご家庭ではご注意ください。高温になっていますので、やけどの危険性があります。

### ■空だき防止

●「追いだき」スイッチを押すときは必ず浴槽の循環口より上に湯（水）が入っていることを確かめる。水位が循環口より低いときは、機器の故障などの原因となることがあります。




### ■入浴時の注意

●入浴の際は、あらかじめ手で湯温を確かめてから入浴する。
やけどのおそれがあります。

**ご注意**

### ■電気事故防止

●電源プラグは、ぬれた手で絶対にさわらない。
感電するおそれがあります。
●電源プラグの差し込みは確実に行うこと。プラグにほこりが付着していたり、差し込みがゆるいと感電や火災の原因になります。
●電源コードを引っぱってプラグを抜かないこと。コードを引っぱると断線して発熱や発火の原因となることがあります。
●この機器は、接地工事（アース）が必要ですので確認する。

**ご注意**

### ■市販の補助用具について

●事故防止のため、この機器の純正部品以外は使用しないでください。
●水圧の低い地域では泡沫水栓を使用しないでください。（わからないときは、販売店に確認してください。）
●市販品の湯冷め防止器などは、使用しないでください。

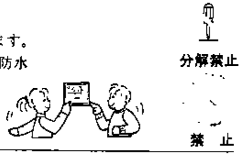
●混合水栓には、さまざまな種類があります。使用方法は、混合水栓の取扱説明書をご覧ください。
●やけど対策上、サーモスタット付混合水栓の使用をおすすめします。

### ■入浴時の注意

●浴槽の循環口をタオルなどでふさがないでください。循環不良でふろ沸かしができなくなったり、機器の故障の原因になります。

### ■リモコンについて

●リモコンは、分解しないでください。誤動作や故障の原因となります。
●台所リモコンには、水をかけないでください。浴室リモコンは、防水タイプですが故意に水をかけないでください。
●リモコンは子どもがいたずらしないように注意してください。




### ■凍結についての注意

●冬期には機器内の水が凍って機器が破損することがありますので凍結のおそれがあるときは42ページの「凍結予防方法」にしたがって処置をしてください。

### ■凍結したとき

●機器や配管が損傷しますと高額の修理費がかかります。（有料）
●凍結したままでは絶対に使用しないでください。
●再使用の場合は、凍結がとけた後全ての給湯栓から水が出ることを確認し、機器および配管から水漏れがないことを確認後、20ページ「初めてお使いいただくときに」の項以下の操作を行ってください。

### ■水の使用についての注意

●機器内に長時間たまった水、たとえば朝一番の使い始めのまだぬるいお湯は飲まないで雑用水としてお使いください。
●洗濯注湯ユニット（別売品）を取り付けた場合、洗濯注湯システム用蛇口は、浴槽の残り湯も使用しますので、上水として飲用や調理等には絶対に使用しないでください。

# 必ずお守りください

## ご注意

### ■雷が発生しているときの注意

●激しい雷により、一時的な過電流で電子部品を損傷することがあります。電源プラグをコンセントから抜きますと損傷を防止できます。
●5分以上電源プラグをコンセ [illegible] から [illegible] 場合は、リモコンの各設定（給湯湯温・ふろ湯 [illegible] 在時刻・予約時刻等）を行い、表示を確認した後ご [illegible]

電源プラグを抜け

### ■雷が鳴った後、機器が作動しないとき

●落雷の際、お湯が出なくなった場合は機器内の漏電リレーが作動したことが考えられます。このようなときには、電源プラグを一度コンセントから抜き、再度差し込んでください。（5分以上の停電のときはリモコンの再設定が必要です）それでも使用できないときはお買い上げの販売店または、ガス会社へご連絡ください。

### ■停電時や電源プラグを抜いたとき

●この機器は停電時や電源プラグを抜いたときは使用できません。
●停電時は給湯栓を閉めてください。
●再通電したときは、リモコンの設定（給湯湯温・ふろ湯温・水位・現在時刻・予約時刻等）を行い、表示を確認した後ご使用ください。（5分以上の停電のときは再設定が必要です。）

給湯栓を閉める

### ■入浴時や洗剤についての注意

●強酸、強アルカリの洗剤および、硫黄、酸を含んだ入浴剤は、機器の性能低下や熱交換器等の腐食原因となる場合がありますので使用しないでください。
入浴剤の説明文および含有成分等を十分確かめ、機器への悪影響がないものをご使用ください。
●乳白色や白濁する入浴剤のなかには、沈殿物が熱交換器にたまって異音を発生したり、フィルターやお湯の通路にたまって動作不良を起こすものがあります。沈殿物を生じないものでも熱交換器内で沸騰を起こし、異音を発生させるものもあります。このような入浴剤は、ご使用を避けてください。
●薬草やゆずを入れたり、薬草入り入浴剤を入れた場合は、薬草などがフィルターや機器内部につまってしまいますのでおやめください。

禁止



## ご注意

### ■用途についての注意

●本製品は家庭用ですので業務用にお使いにならないでください。著しく寿命が短くなります。
●ソーラーとは絶対に接続しないでください。夏期にソーラーの水温が高くなったときはお湯の温度制御ができなくなり、高温のお湯がそのまま出ます。やけどの危険性が高く、また機器の故障原因になります。

禁止

### ■日常の点検・お手入れ

●日常の点検・お手入れをしてください。（詳しくは50ページをご覧ください。）
●故障または破損したと思われるときは使用しないでください。このとき、ご自分で修理なさらずお買い上げの販売店、または最寄りのガス会社へご連絡ください。
●フィルターはこまめに掃除してください。浴槽内の循環口のフィルターがつまってくると浴槽の湯温が不均一になったり、沸き上がる前に消化することがあります。

### ■長期間使用しない場合

●43ページの機器内の水を抜く方法により、水抜きを行ってください。水が長い間流れないと一瞬、濁ったお湯が出たり、冬期には、凍結するおそれがあります。

### ■外出、就寝前のガス栓確認

●お出かけやおやすみになるときは、ガス栓を閉めてください。

### ■ガス事故防止

●点火消火の確認
使用時の点火、使用後の消火の他、使用中も正常に燃焼していることを確認してください。

## ご注意　設置状態の確認

### ■可燃物との離隔距離

●機器を設置する場所の周囲の壁、天井などが防火上安全なものであるか確認し、可燃性の部分から十分離して設置してください。（わからないときは、販売店に確認してください。）

### ■設置場所について

●設置場所をお決めになるときは近隣の家が運転音（燃焼音、燃焼用送風機、ポンプ回転音など）で迷惑にならない場所に設置してください。（工事する方とよく相談してください。）
●足場などを組まなければメンテナンスができない高所などに設置しないでください。メンテナンスをお断りすることがあります。

# 必ずお守りください

## ご注意 設置状態の確認

### ■給排気について

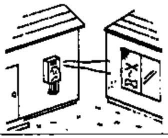
●機器は給気・排気が十分できる場所に設置してください。給排気が不十分な場所に設置すると不完全燃焼の原因となり危険です。

### ■塩ビ管の使用について

●給水・給湯配管に塩ビ管を使わないでください。
機器の使用直後に熱交換器の後沸きにより塩ビ管が破裂し、熱湯がふき出したり、多量の水漏れの原因になります。

### ■排気ガス

●排気ガスが直接建物の外壁やアルミサッシなどに当たらないよう、施工してください。外壁が変色したり、アルミサッシが腐食したりするおそれがあります。
●排気口の周囲には、排気口からの排気ガスによって加熱されて困るもの(危険物・植物・ペットなど)を置かないでください。


禁 止

### ■地下水、井戸水の注意

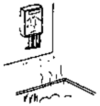
●地下水や井戸水を使用される場合は施工前に十分、水質や水圧(使用水圧が安定しているか)を確認してください。水圧が十分でないと機器の性能が得られないことがあります。

### ■塩害

●海岸近くに設置するときは、潮風にさらされる場所をさけてください。

### ■ほこり

●砂や油煙、ペットの毛などのほこりの立ちやすい場所には設置しないでください。ほこりが給気口をふさいだり、燃焼用の送風機の性能を低下させ、不完全燃焼の原因となります。


禁 止

## ⚠警告—床暖房についての注意

### ■やけどに注意

●長時間、皮膚の同じところに触れて使用しない。低温やけどの原因となります。
〈次のような方は特に注意〉
・お子様　　　　　　・深酒、疲労の激しい方
・お年寄り　　　　　・皮膚の弱い方
・眠気を誘う薬(睡眠薬、かぜ薬など)を服用された方
●乳幼児や身体の不自由な方には付き添いなしでは使用しない。
低温やけどの原因となります。

禁 止

### ■火災予防

●床暖房の上にスプレー缶、ライター等を置かない。
爆発や火災の恐れがあります。

禁 止



## ⚠警告 −床暖房についての注意

### ■床についての注意

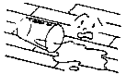
●床暖房を設置している床面に、突起物(釘・画びょう・きり・ダニ防虫剤の注射針・はさみなど)を落としたり刺したりしないでください。水漏れの原因となります。

禁 止

## ⚠注意 −床暖房についての注意

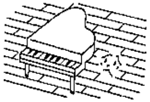
### ■床についての注意

●床に水などがこぼれたら速やかに拭きとる。
床面に水、薬品、しょう油などをこぼしたままにしておきますと、床暖房の放熱板が腐食することがありますので、すみやかに拭きとってください。


禁 止

●家具などを直接床に置かない。
床暖房の上に、調度品、家具などを置きますと家具等に熱がこもり、ひずみ等が発生する恐れがあります。

●重いものはそのまま置かない。
ピアノなど重量物にはパットなどを敷いて一箇所に荷重がかからないよう設置してください。床が破損し、水漏れの恐れがあります。


禁 止

●床へは衝撃を加えない。
床が破損し、水漏れの恐れがあります。

●床仕上材の上に敷きものを敷かない。
木質フローリングをお使いの場合、カーペットなどの敷きものを敷かないでください。性能が発揮できない場合や、床暖房の熱がこもって、フローリングが変形、変色することがあります。

禁 止

●ホットカーペットとの併用はしない。
床仕上材が変形、変色する恐れがあります。

禁 止

### ■用途についての注意

●床暖房を他の目的に使用しない。
特殊な用途(例えば衣類の乾燥や動物の飼育、植物の栽培、食品の保存など)には使わないでください。

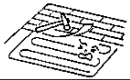
禁 止

### ■カーペットの張替えについて

●張替えする場合には床暖房専用のものを使用し、床暖房を破損しないように両面接着テープかグリッパーにて固定するようにしてください。釘あるいはびょうで固定するのは避けてください。また、交換を考えて、全面接着することは避けてください。

### ■カーペット以外のものの張替えについて

●仕上材を張替える場合には、お買い上げの販売店または、最寄りのガス会社にご相談ください。



### ■床下防腐処理について

●床暖房および配管類に処理剤が付着すると腐食することがありますので、注意してください。

# 各部の名まえと扱いかた

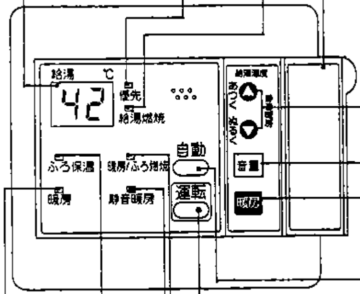
## ■台所リモコン(台所等についています。)

〔注〕 リモコンの画面表示は説明のためで、実際の運転状態を示すものではありません。
※台所リモコンには、「ふろ沸き上げコール」などの音声報知がついています。
TP-MZ05には暖房スイッチと暖房ランプがあります。
TP-MZ06には暖房スイッチと暖房ランプがありません。
20ページ以降の説明はTP-MZ06を使用し、説明しています。

**給湯湯温表示**
給湯のセット湯温を表示します。

**優先ランプ**
優先ランプが点灯しているときは、給湯湯温調節スイッチの操作が可能です。

**給湯燃焼ランプ**
給湯燃焼中に点灯します。




**給湯湯温調節スイッチ**
給湯温度を調節するとき使用します。
(23ページ)
静音暖房の運転を開始、停止を行うときに同時に押します。
(41ページ)

**音量スイッチ**
音量(音声)調節するときに使用します。
(22ページ)

**暖房スイッチ(ある場合)**
暖房運転をするときに使用します。
(41ページ)

**自動スイッチ(ランプ)**
ふろの自動運転をするときに押します。あらかじめ浴室リモコンでセットされた湯温、水位でおふろが沸き上がります。自動運転中はスイッチが点灯します。(30ページ)

**ふろ保温ランプ**
ふろ保温中に点灯します。

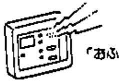
**運転スイッチ**
操作するとき、最初に「入」にします。給湯湯温が表示されます。

**暖房ランプ(ある場合)**
暖房運転中に点灯します。

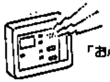
**静音暖房ランプ**
静音暖房中に点灯します。

**暖房/ふろ燃焼ランプ**
暖房燃焼中や、ふろ燃焼中に点灯します。

〔呼出しコール〕
・おふろで呼出スイッチを押すと「おふろで呼んでいます。」と音声が流れます。

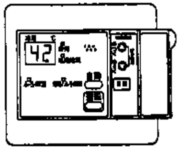



〔ふろ沸き上がりコール〕
・自動運転・予約運転で設定したふろ温度まで沸上げると「おふろが沸きました。」と音声が流れます。




**■増設リモコン**
〔TP-MZ08〕(別売品)
台所、浴室以外の部屋から運転スイッチの「入」・「切」、給湯湯温調節、自動運転ができます。

各部の名前と参照ページ、使用方法は、台所リモコン〔TP-MZ05〕と同じ操作ですが暖房スイッチと暖房ランプ、静音暖房ランプはありません。

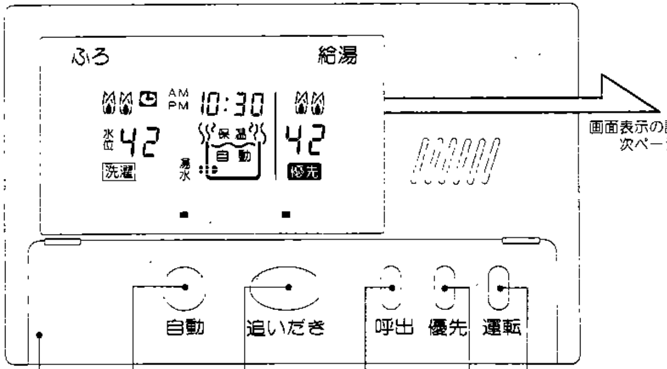







## ■浴室リモコン (浴室についています)〔TP-FZ05〕

〔注〕 ●リモコンの画面表示は説明のためで、実際の運転状態を示すものではありません。
※浴室リモコンには、操作方法を知らせる音声ガイドが内蔵されています。
●通常はふたが確実に閉じた状態にしておいてください。
●リモコンの画面表示の中には、一部この機種で使用しない表示も含まれております。




画面表示の説明は次ページ

**自動スイッチ**
ふろの自動運転をするときに押します。
あらかじめセットされた湯温・水位でおふろが沸き上がります。
(30ページ参照)

**呼出スイッチ**
台所リモコンで呼出しコールが流れます。
(14ページ参照)

**運転スイッチ**
操作するとき、最初に「入」にします。
「入」にすると、給湯湯温等が表示されます。

**ふた**
洗濯注湯/停止・たし湯・ぬるく・現在時刻セット・予約時刻セット・水位調節・ふろ湯温調節・給湯湯温調節・予約・音量調節のときに開けます。
通常は確実に閉じた状態にしておいてください。 (17ページ参照)

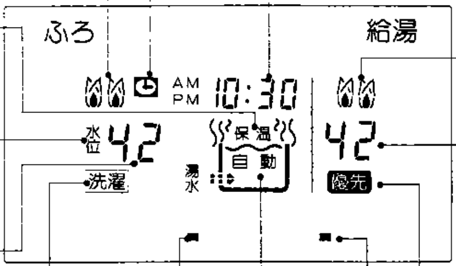
**追いだきスイッチ**
ふろを追いだきするとき押します。
(33ページ参照)

**優先スイッチ**
給湯湯温調節の優先権を切り替えるスイッチです。
(24ページ参照)

使用方法

# 各部の名まえと扱いかた

## ■浴室リモコンの画面表示内容




**ふろ燃焼表示**
ふろ燃焼中に表示します。

**予約表示**
予約が「入」のときに表示します。

**現在時刻表示**
現在時刻を表示します。

**予約時刻表示(切替)**
ふろの沸き上がる時刻を表示します。

**保温表示**
保温中であることを表示します。

**給湯燃焼表示**
給湯燃焼中に表示します。

**水位表示**
自動お湯はり水位をセットするとき表示します。

**給湯湯温表示**
給湯のセット湯温を表示します。

**ふろ湯温表示**
ふろのセット湯温を表示します。

**水位設定表示(切替)**
ふろへの自動お湯はり水位を表示します。

**洗濯表示**
洗濯注湯／停止スイッチを押したとき表示します。

**自動表示**
自動が「入」のときに表示します。

**優先の表示**
優先を表示しているときは給湯湯温スイッチで湯温調節が可能です。

**自動ランプ**
自動が「入」のときに点灯します。

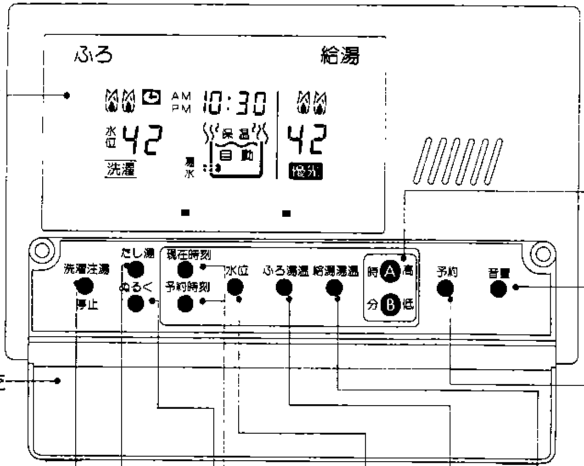
**追いだきランプ**
追いだきが「入」のときに点灯します。

| 補足説明 | | 画面表示 | 操作説明の図 |
|---|---|---|---|
| ふろ燃焼・給湯燃焼時 | 燃焼中は、左右に動きます。 | | |
| 追いだき・たし湯動作時 | 上の矢印が動きます。 | | |
| 自動運転のお湯はり動作時 | 上の矢印が動きます | 自動 ▶ 自動 ▶ 自動 ▶ 自動 | 自動 |
| ぬるくの動作時 | 下の矢印が動きます。 | | |
| 自動運転の保温動作時 | 湯気が動きます。 | 保温 自動 ▶ 保温 自動 ▶ 保温 自動 | 保温 自動 |



## ■浴室リモコン

●ふたを開けた状態




**調節スイッチ**
現在時刻・予約時刻・水位調節・ふろ湯温・給湯湯温をセットするときに使用します。
(21・24・28・29・37ページ参照)

**音量スイッチ**
音量(音声)を調節するときに使用します。
(22ページ参照)

**予約スイッチ**
予約運転をするときに使用します。
(38・39ページ参照)

**たし湯スイッチ**
おふろのお湯の量をふやしたいときに押します。(36ページ参照)

**水位設定スイッチ**
水位調節のときに使用します。
(29ページ参照)

**給湯湯温設定スイッチ**
給湯湯温を調節するときに使用します。
(24ページ参照)

**洗濯注湯/停止スイッチ**
別売品の洗濯注湯システムを停止するとき使用します。
(40ページ参照)

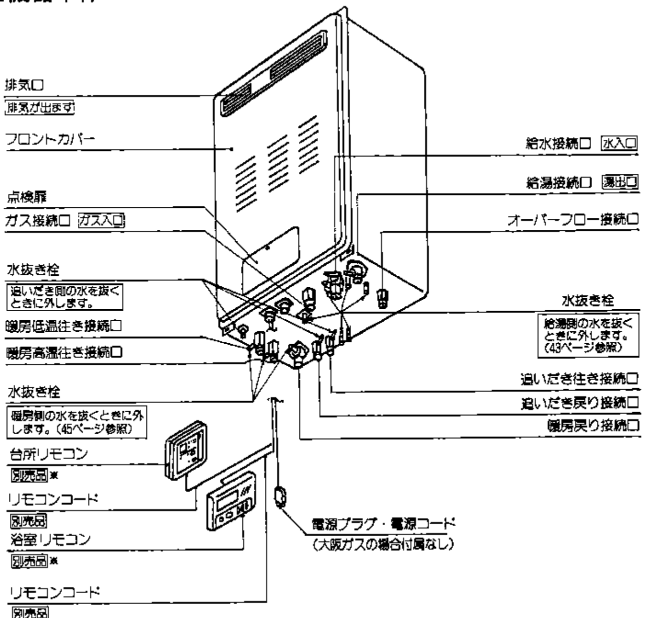
**時刻設定スイッチ**
現在時刻および予約時刻のセットに使用します。
(21・37ページ参照)

**ふろ湯温設定スイッチ**
ふろ湯温を調節するときに使用します。
(28ページ参照)

**ぬるくスイッチ**
ふろ湯温をぬるめにしたいときに押します。
(35ページ参照)

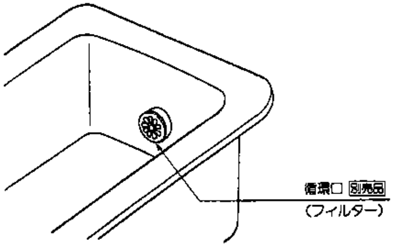
## 各部の名まえと扱いかた

### ■機器本体



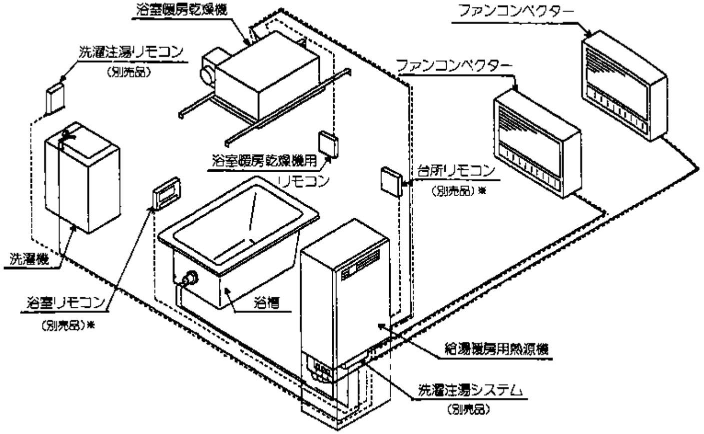

※大阪ガスの場合
台所リモコン・浴室リモコンは付属品となります。

### ■浴槽

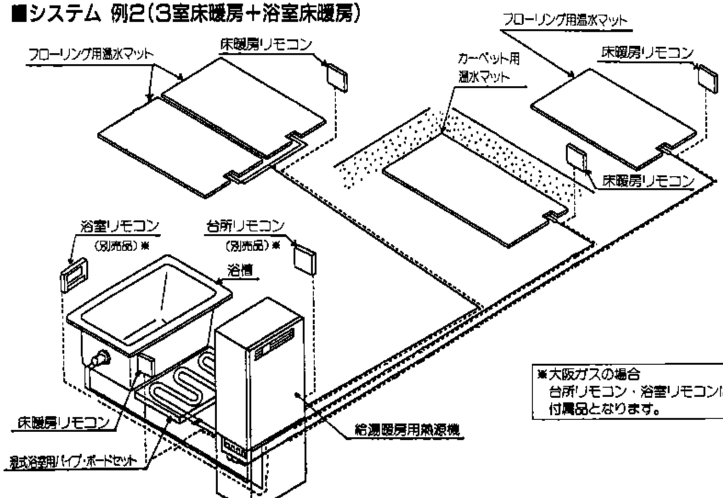





### ■システム 例1(2室暖房+浴室暖房・乾燥)




### ■システム 例2(3室床暖房+浴室床暖房)




※大阪ガスの場合
台所リモコン・浴室リモコンは付属品となります。

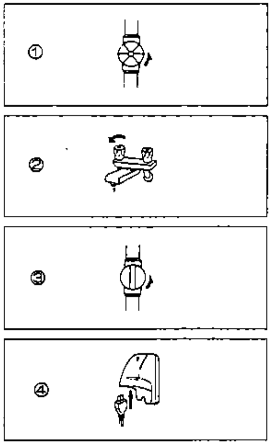
使用方法

# 初めてお使いいただくときに

機器および機器周辺の点検・確認を行ってください。(50ページ参照)

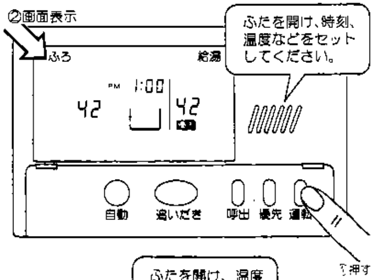
## 1 初めてお使いになるときはまず……

(1)給水元栓を全開にします。
(2)給湯栓を開け、水の出ることを確認してから閉めます。
(3)ガス栓を全開にします。
(4)電源プラグ(機器の周辺にあります)を差し込みます。



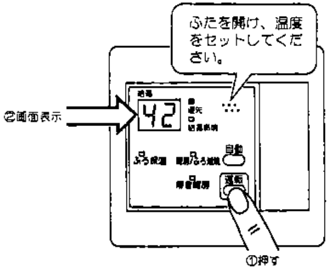

## 2 リモコンの「運転」スイッチを押し「入」にします。

●リモコンから「音声ガイド」が2回流れます。




この音声ガイドは、電源を入れたときや停電復帰後など5分以上通電が止まった後、はじめて「運転」スイッチを押したときだけ流れます。

●お買い上げいただいたときの給湯湯温、ふろ湯温は42℃です。



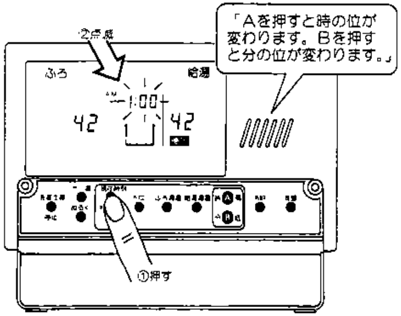



# 使用方法・現在時刻の合わせかた

●「運転」スイッチが「切」でも操作できます。

## 1 リモコンのふたを開け「現在時刻」スイッチを押します。

●現在時刻表示が点滅します。
●リモコンから「音声ガイド」が2回流れます。




## 2 現在時刻を合わせます。

AM(午前)・PM(午後)に注意して押してください。
スイッチを押し続けると連続的に数字が変わります。

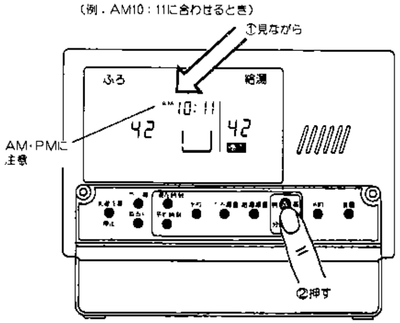
**1.浴室リモコンの「時Ⓐ高」スイッチ**を押して**時の位**を合わせます。
**「分Ⓑ低」スイッチ**を押して**分の位**を合わせます。

**2.「現在時刻」スイッチを押します。**

●時刻表示の点滅が止まります。

**3.ふたを確実に閉じます。**

(例．AM10：11に合わせるとき)



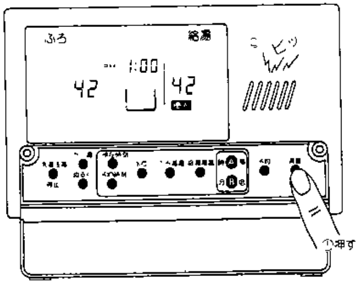

使用方法

# 使用方法・音量調節のしかた

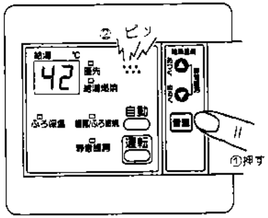
●リモコンからは、操作方法を説明する音声やブザーが流れます。音声の音量は浴室リモコン、台所リモコンそれぞれ独立していますので、好みに応じてそれぞれ調節してください。
●画面に表示が出ていること(「運転」スイッチが「入」)を確かめます。
表示が出ていないときは、「運転」スイッチを押します。

**1** リモコンのふたを開け
**1.「音量」スイッチを押します。**

● 1回押すごとに音量がかわります。
● 音量判断のための「ピッ」音が鳴ります。




大 『ピッ』
↓
中 『ピッ』
↓
小 『ピッ』
↓
無音……無音……「音声ガイド」は、流れませんが、台所リモコンの呼出しコールは流れます。




**2.ふたを確実に閉じます。**

自動運転終了時の浴室リモコンのブザーと台所リモコンのふろ沸き上がりコール及びスイッチ操作時の「ピッ」音の音量は、調節できません。

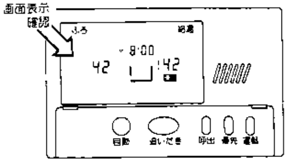


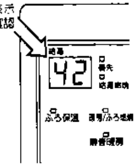
# 使用方法・給湯・シャワー

●初めてお使いのときや、電源プラグを抜いたことにより5分以上通電が止まった後、再通電したときは給湯湯温表示が42℃となります、再度、セットしなおしてください。
●通常、給湯湯温は「運転」スイッチを「切」にしても記憶されていますが、給湯湯温が60℃に設定されていた場合はやけど等の危険防止のため再度、「運転」スイッチを入れたとき、自動的に55℃に設定が変更されます。
●60℃の湯温設定でのやけど防止のため、サーモスタット付混合栓の使用をおすすめします。
●表示している湯温と給湯栓から出る湯温は配管の長さや外気温等により、必ずしも一致しません。目安としてお使いください。
●自動運転中に出湯すると、ふろの設定湯温で出湯されます。自動運転が終了(音声でお知らせします。)した後、再度出湯したときに給湯の設定湯温に戻ります。

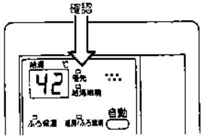
**1 給湯湯温が表示されていること(「運転」スイッチが「入」)を確かめます。**

●表示が出ていないときは、「運転」スイッチを押します。



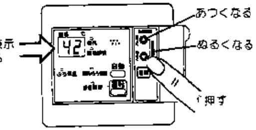

**2 給湯湯温調節をします。**
**■台所リモコンで湯温調節をしたいとき**




**1.「優先ランプ」が点灯していることを確認します。**

●「優先ランプ」が点灯していないときは、台所リモコンの「運転」スイッチを「切」にして再度「入」にします。

**2.「給湯湯温調節」スイッチを押し、湯温設定します。**




●湯温は、37・38・39・40・41・42・43・44・45・46・47・50・55・60℃の14段階設定です。50℃以上は、特に高温となりますのでご注意ください。
●55℃以下の湯温で給湯・シャワー使用中は、やけど防止のため60℃には設定できません。
60℃に設定するときは、一旦、出湯を停止してから行ってください。
設定するときは、他の場所で使われていないことを確認してから行ってください。

⚠警告
●シャワー使用中に優先の変更、および台所リモコンでの給湯湯温調節をしないでください。シャワーの温度が急に変わって危険です。

**ご注意**
●優先を切り替えしたとき、切り替え前のセット湯温が60℃であると、55℃に自動的にセットが変更されます。
●「優先ランプ」が点灯していない時に「給湯湯温調節」スイッチを押すと、「「運転」スイッチを入れ直してから、温度をセットしてください」と音声ガイドが流れます。
●自動運転中に「給湯湯温調節」スイッチを押すと警告音「ピッ…」(ピッが5回)が鳴ります。

使用方法

## ■浴室リモコンで湯温調節をしたいとき

**1.** 浴室リモコンの画面に

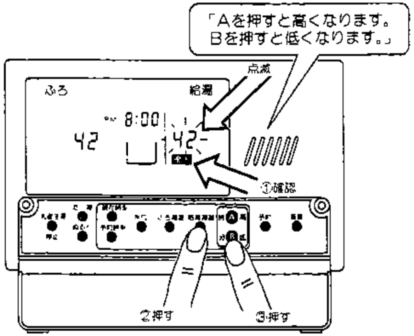
**優先 が表示されていることを確認します。**

● 優先 が表示されていないときは、「優先」スイッチを押します。

**2.** リモコンのふたを開け

**「給湯湯温設定」スイッチを押します。**

● 給湯湯温表示が点滅し、音声ガイドが2回流れます。



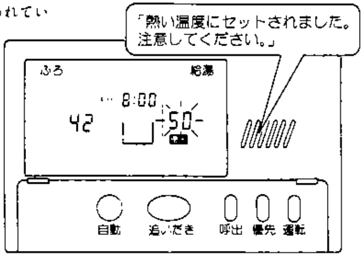

**3. 調節スイッチを押して湯温設定します。**

給湯湯温を高くする➡**「時Ⓐ高」を押す。**
給湯湯温を低くする➡**「分Ⓑ低」を押す。**

● 湯温は、37・38・39・40・41・42・43・44・45・46・47・50・55・60℃の14段階設定です。50℃以上は、特に高温となりますのでご注意ください。

● 55℃以下の湯温で給湯・シャワー使用中はやけど防止のため、60℃には設定できません。
60℃に設定するときは、一旦、出湯を停止してから行ってください。設定するときは、他の場所で使われていないことを確認してから行ってください。

● 50℃以上に設定すると音声ガイドが2回流れます。
［台所リモコンで50℃以上に設定したときも音声ガイドが流れます。］




**4.「給湯湯温設定」スイッチを押します。**

● 給湯湯温表示の点滅がとまります。

**5. ふたを確実に閉じます。**

**ご注意**

● 浴室でシャワーを使用するときは浴室リモコンに 優先 を表示させ、給湯湯温表示を確認してください。
浴室リモコンに 優先 が表示されているときは台所リモコンで、給湯湯温の調節はできません。

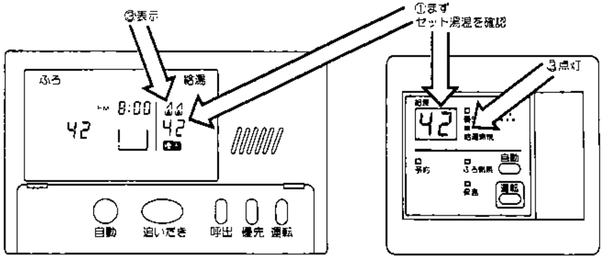
● 優先を切り替えしたとき、切り替え前のセット湯温が60℃であると、55℃に自動的にセットが変更されます。

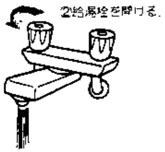
● 自動運転中に「給湯湯温設定」スイッチを押すと警告音「ピッ…」(ピッが5回)が鳴ります。



## 3 給湯栓を開けます。

● 点火すると「給湯燃焼表示」(🔥)が表示され(台所リモコンは、給湯燃焼ランプが点灯)しばらくしてお湯が出ます。




**⚠警告**

● セットしてある湯温が高温になっている場合もありますのでシャワー等をお使いのときは、手で湯温を確認してからお使いください。

**ご注意**

● 使いはじめは給湯配管の水が流れ出るまでしばらくお湯は出ません。
(配管長さにより、お湯が出るまでの時間が異なります。)

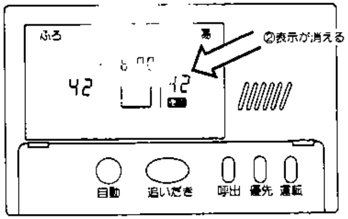
● 給湯栓を絞りすぎると(約2.5ℓ/分以下)熱いお湯が出たり、消火することがあります。

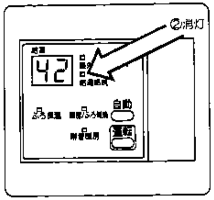
● 夏期水温が30℃近くなると、低温にセットしても給湯栓から出るお湯の量が少ない場合には湯温が熱くなります。このような場合には給湯栓をさらに開けて湯温を多く出すか、水と混合してお使いください。

● 設定温度が55℃以下で給湯使用中に、60℃に温度を調節することはできません。60℃に調節しようとすると警告音「ピッ……」(ピッが5回)が鳴ります。

## 4 給湯栓を閉めます。

●お湯が止まると「給湯燃焼表示」(♨♨)(台所リモコンは、給湯燃焼ランプ)が消えます。
(他の給湯栓で使用中だったり、自動で浴槽にお湯を入れているときは、消えません。)




●給湯栓を閉めても機器の燃焼用のファンモーターがしばらく回転しますが、故障ではありません。

### 優先切替について

●危険防止のため、給湯湯温を調節できるリモコンは、どちらか一方に限られます。
優先があるリモコンで湯温調節できます。
●優先は、「優先」スイッチを押すごとに、浴室リモコンまたは、台所リモコンに切り替ります。
●浴室リモコンで「運転」スイッチを「入」にすると、浴室リモコンに 優先 の表示が表れ浴室リモコンで湯温の設定ができます。
●台所リモコンで「運転」スイッチを「入」にすると、台所リモコンに「優先ランプ」が点灯し、台所リモコンで湯温の設定ができます。

**増設リモコン〔TP-MZ08〕(別売品)を取り付けているお宅では**

●台所リモコンに優先があるときは、増設リモコンにも優先があります。
●増設リモコンの「運転」スイッチを「入」にすると、増設リモコンと台所リモコンは連動していますので、給湯湯温は設定したリモコン側の湯温になります。
●給湯湯温が60℃の設定のリモコンに優先を移した場合は、危険防止のため、自動的に55℃にセットされます。

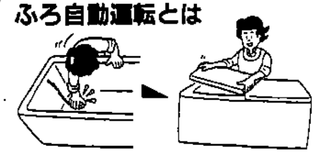
**ご注意**

●「運転」スイッチを「切」にした後、再度「運転」スイッチを「入」にすると、「運転」スイッチを「入」の操作をしたリモコンに「優先表示」または、「優先ランプ」が点灯し、優先を移すことができます。ただし、この方法で優先を切り替えると、他の機能の運転、たとえば自動運転や、追いだき運転、洗濯などが運転中だった場合、それらすべてが停止してしまいますので注意してください。

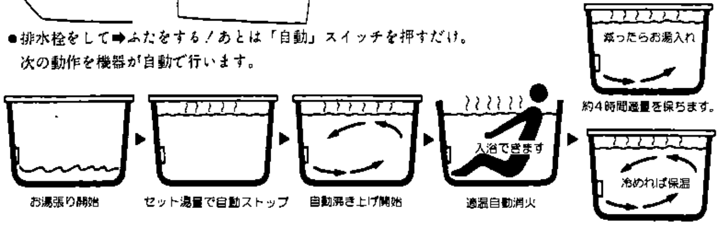


# 使用方法・ふろ自動運転

### ふろ自動運転とは



●排水栓をして➡ふたをする！あとは「自動」スイッチを押すだけ。
次の動作を機器が自動で行います。




●お湯の入れ過ぎや沸し過ぎがなく、上下均一に沸き上がります。

## 1 運転前の準備をします。

1.排水栓をします。
●おふろを沸かす前に必ず、排水栓をしてください。

2.浴槽にふたをします。
●この機器は浴槽にふたをしたままお湯張りができます。

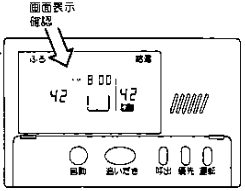
**ご注意**

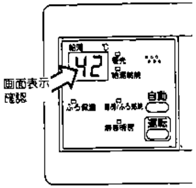
●排水栓をしわすれると、自動運転を開始してから約40分後、浴室リモコンに「032」が点滅(台所リモコンは、「03」と「ふろ燃焼ランプ」が点滅)し、運転が停止します。排水栓をして、一旦、「運転」スイッチを「切」にし、約5秒後に再度「運転」スイッチを「入」にして自動運転を行ってください。

- ●台所リモコンではふろ湯温と水位の設定はできません。浴室リモコンで行ってください。
- ●初めてお使いの時や、電源プラグを抜いたことにより5分以上通電が止まった後、再通電したときはふろ湯温表示が42℃、水位は40となります。再度セットしなおしてください。
- ●表示する湯温と表示する水位は、水温や水圧により実際とは異なる場合があります。目安としてお使いください。

## 2 リモコン画面に 給湯湯温が表示されていること(「運転」スイッチが「入」)を確かめます。

●表示が出ていないときは、「運転」スイッチを押します。




## 3 ふろ湯温を設定します。

●2回目以後は記憶されますので、セットする必要はありません。

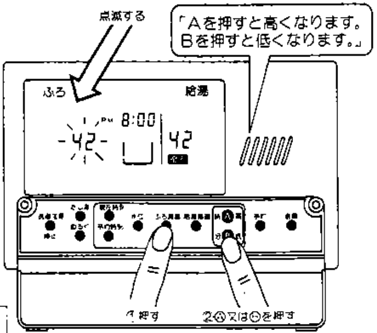
浴室リモコンのふたを開け

### 1.「ふろ湯温設定」スイッチを押します。

- ●「ふろ湯温表示」が点滅します。
- ●音声ガイドを2回繰り返します。

### 2.調節スイッチを押して湯温設定します。

ふろ湯温を高くする➡「時Ⓐ高」を押す。
ふろ湯温を低くする➡「分Ⓑ低」を押す。




| 調節範囲 | 37℃～39℃ | 40℃～43℃ | 44℃～48℃ |
|---|---|---|---|
| | 1℃ずつ | | |
| ご使用目安 | ぬるい | 標　準 | あつい |

### 3.「ふろ湯温設定」スイッチを押します。

●「ふろ湯温表示」の点滅が止まります。



## 4 ふろ水位を設定します。

●2回目以後は記憶されますので、セットする必要はありません。

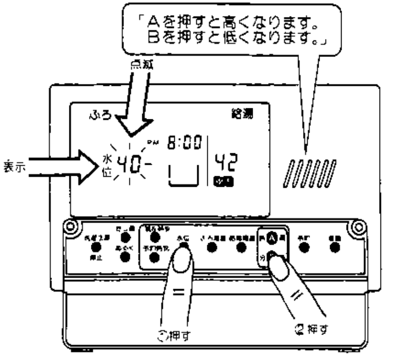
1.浴室リモコンのふたを開け

### 「水位設定」スイッチを押します。

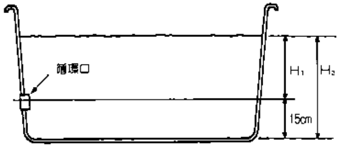
- ●「水位」の表示がされ、水位の値が点滅します。
- ●音声ガイドが2回流れます。

### 2.調節スイッチを押して水位設定します。

水位を高くする➡「時Ⓐ高」を押す。
水位を低くする➡「分Ⓑ低」を押す。




●水位設定について




| 画面表示の値<br>浴槽の底からの水位（$H_2$） | 循環口からの水位（H） |
|---|---|
| 54 | 39 |
| 52 | 37 |
| 50 | 35 |
| 48 | 33 |
| 46 | 31 |
| 44 | 29 |
| 42 | 27 |
| 40 | 25 |
| 38 | 23 |
| 36 | 21 |
| 34 | 19 |
| 32 | 17 |
| 30 | 15 |

（単位：cm）

水位を示す数値($H_1$)($H_2$)はおよその目安です。
水温や水圧により異なりますのでご了承ください。

### 3.「水位」スイッチを押します。

●変更された水位の値が点灯し、ふろ湯温表示に戻ります。

### 4.ふたを確実に閉じます。

**一口メモ**

●設定は記憶されますので、2回目以後、セットする必要はありません

**ご注意**

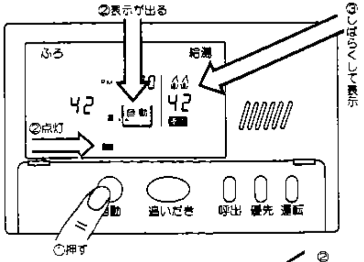
- ●水位を示す数値(H数値)はおよその目安です。水温や水圧により異なりますのでご了承ください。
- ●($H_1$)($H_2$)は上部循環口の中心が浴槽の底から15cmを目安にしてあります。循環口の取付位置は浴槽の種類、材質および施工時の状況等により異なりますのでご了承ください。
- ●浴槽の種類や施工条件によっては、あまり多めにセットするとあふれることも考えられます。最初は初期設定（40cm）で自動運転させ、そのときの実際の水位を確認してから、お好みの水位に増減することをおすすめします。

## 5 「自動」スイッチを押します。

●台所リモコンでも操作できます。

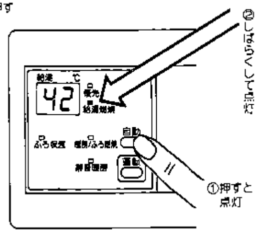
### Ⓐ 浴室リモコン

●「自動ランプ」が点灯し、画面に 自動 が表示され、しばらくして「給湯燃焼表示」(♨)が表示されます。



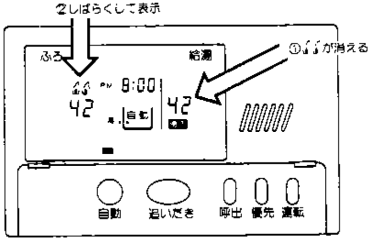

### Ⓑ 台所リモコン

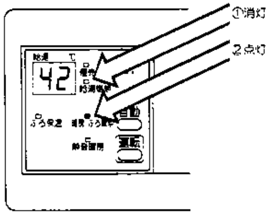
●スイッチを押した後「自動でおふろを沸かします。」「おふろの栓をしましたか。」と音声ガイドが2回流れます。
●「自動」スイッチが点灯し、しばらくして「給湯燃焼ランプ」が点灯します。
●おふろの循環口からお湯が出てきます。
●設定水位に近づくと台所リモコンから「もうすぐ、おふろに入れます。」と音声ガイドが2回流れます。
以降は、機器が自動でおふろを沸かします。




### 1.設定水位までお湯張りしますと自動的に循環口から出ていたお湯が止まり、おふろの湯を循環して沸かし上げます。

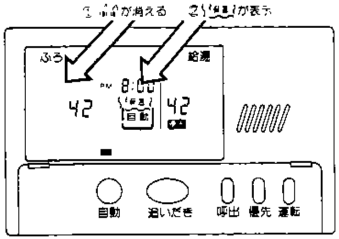
●このとき「給湯燃焼表示」(♨)(台所リモコンは、給湯燃焼ランプ)が消えます。
そして「ふろ燃焼表示」(♨)(台所リモコンはふろ燃焼ランプ)が表示されます。



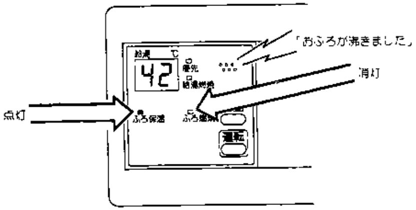




### 2.台所リモコン、浴室リモコンが沸き上がったことを知らせます。

●ふろ湯温まで沸き上がりますと「ふろ燃焼表示」(♨)(台所リモコンは、ふろ燃焼ランプ)が消えます。
●浴室リモコンからブザーが鳴り、台所リモコンからは、「おふろが沸きました」と音声ガイドが2回流れます。
●同時に「保温表示」が表示されます。
これは、ふろの湯温と湯量を機器が見はっていることを表わしています。




おふろが沸き上がりましたので入浴できます。
●おふろのお湯を使うときは、手で湯かげんを確かめてから使ってください。
入浴する際も、湯かげんを手で確かめてから入浴してください。




### 3.自動的に約4時間水位と湯温を保ちます。

（浴室リモコンは、「自動ランプ」点灯、保温自動表示。
台所リモコンは、「自動」スイッチ・「保温ランプ」点灯。）

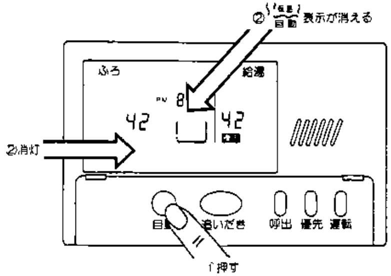
●沸き上がりから約4時間は30分ごとにポンプがまわり、湯温を検知し、湯温が下がっていると自動的にセット湯温まで沸かし上げ保温します。
(ときどき「ふろ燃焼表示」(♨)「ふろ燃焼ランプ」が表示されます。)
また湯量がセット水位より減ると自動的に循環口からお湯が出て、セット水位までたし湯します。
たし湯されるときは、給湯燃焼ランプが点灯します。
●約4時間経過すると自動的に停止します。
（浴室リモコンは、「自動ランプ」消灯、保温自動表示が消え、
台所リモコンは、「自動」スイッチ・「保温ランプ」が消灯します。）

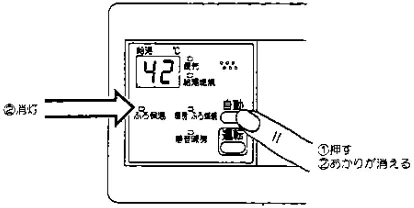
**ご注意**
●自動運転のお湯張り中に台所等でお湯を使うと、ふろ設定湯温のお湯が出ます。
●自動お湯張り中、循環口からお湯が出たり止まったりし、また、「給湯燃焼表示」(♨)(台所リモコンは、給湯燃焼ランプ)がついたり、消えたりしますが、異常ではありません。
●自動お湯張り中、他で給湯栓を開くと、お湯は両方に分配されますので、お湯張り時間は長くなります。

## 6 自動運転・保温運転をやめたいとき

### (1)「自動」スイッチを押します。

- どちらのリモコンでも操作できます。
- 「自動ランプ」が消灯し、保温自動表示が消えます。(浴室リモコン)
- 台所リモコンは、「自動」スイッチ・「保温ランプ」が消灯します。




## 7 沸かし直し

- 前日までの残り湯を沸かし直したいときは、「ふろ自動運転」とまったく同じ手順で行います。
  セット水位より湯量が減っている場合は、セットした水位までたし湯したうえでセット湯温に沸かし上げます。



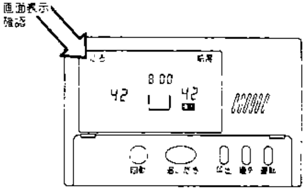
# 使用方法・追いだき

追いだき運転とは

- 入浴時、おふろのお湯がぬるくなって、もっと熱くしたい時に操作します。

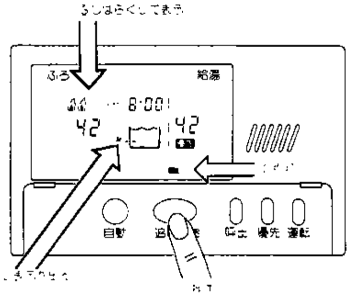
## 1 リモコン画面に給湯湯温が表示されていること(「運転」スイッチが「入」)を確かめます。

- 表示が出ていないときは、「運転」スイッチを押します。




## 2 浴室リモコンの「追いだき」スイッチを押します。

- 画面に「追いだきランプ」が点灯し、湯量表示が表示され、しばらくして、「ふろ燃焼表示」( )(台所リモコンは、ふろ燃焼ランプ)が表示されます。






**ご注意**

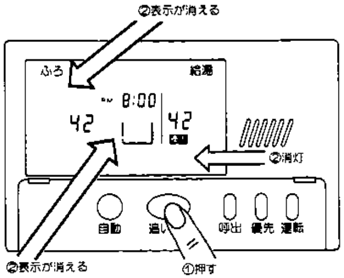
- 浴槽の循環口より上に湯(水)があるとき操作してください。
- 自動運転のお湯張り中は、追いだき運転はできません。

# 使用方法・追いだき

**3** お好みの湯かげんになったら

## 「追いだき」スイッチを押します。

● 「追いだきランプ」が消灯し、[icon] と「ふろ燃焼表示」（[icon]）（台所リモコンは、ふろ燃焼ランプ）が消えます。




●停止の操作をしない場合は、自動的に停止します。ただし、沸き上りの湯温は２通りとなります。

1．前日の沸かし直しの場合は、設定温度で停止します。

2．保温中など、おふろの湯温がほぼ設定温度かそれ以上のときは、現在湯温＋２℃（例えば、現在湯温42℃の場合44℃）で停止します。

●さらにあつくしたいときはもう一度追いだきスイッチを押します。現在の湯温より2℃高く沸き上げます。沸き上げている途中でお好みの湯かげんになったらもう一度追いだきスイッチを押して停止してください。



# 使用方法・ぬるく

ぬるく運転とは

●おふろのお湯をぬるくしたいときに操作します。

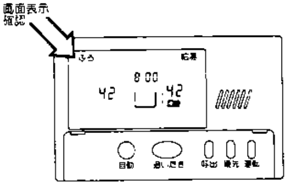
●約12ℓ水を入れてから自動停止し、その後約1分間のかくはんを行います。
この操作によりおふろがぬるくなります。

●もっとぬるくしたいときは、もう一度「ぬるく」スイッチを押してください。

**1** リモコン画面に

## 給湯湯温が表示されていること（「運転」スイッチが「入」）を確かめます。

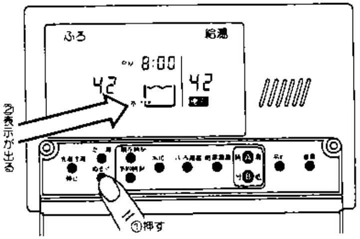
●表示が出ていないときは、「運転」スイッチを押します。




**2** 浴室リモコンのふたを開け

## 「ぬるく」スイッチを押します。

●画面に水・[icon] が表示され、しばらくしておふろの循環口から水が出てきます。



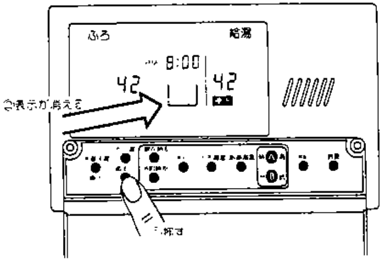

**3** お好みの湯かげんになったら

## 「ぬるく」スイッチを押します。

● 水・[icon] 表示が消えます。

［ぬるく停止の操作をしない場合は、約12ℓ水を入れ続けてから自動停止し、その後1分間のかくはんを行います。かくはん後、水・[icon] の表示が消えます。］

●ふたを確実に閉じます。




**ご注意**

●自動運転中（終了ブザーが鳴り終るまで）は、「ぬるく」スイッチは使用できません。
（スイッチを押すと、警告音「ピッ………」（ピッが５回）が鳴ります。

# 使用方法・たし湯

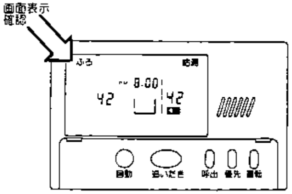
たし湯運転とは

- おふろのお湯の量を増したいときに操作します。
- 「ふろセット湯温」のお湯が約24ℓ、おふろにたし湯されます。

**1** 浴室リモコンで操作します。
リモコン画面に

**給湯湯温が表示されていること(「運転」スイッチが「入」)を確かめます。**

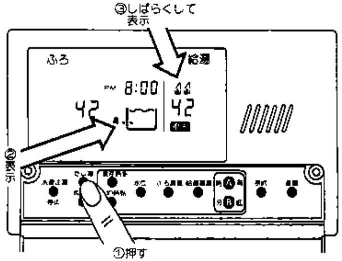
- 表示が出ていないときは、「運転」スイッチを押します。




**2** 浴室リモコンのふたを開け

**「たし湯」スイッチを押します。**

- 画面に湯 が表示されしばらくしておふろの循環口から湯が出てきます。このとき「給湯燃焼表示」( ) (台所リモコンは、給湯燃焼ランプ) が表示されます。




**ご注意**

- 自動運転中 (終了ブザーが鳴り終るまで) は、「たし湯」スイッチは使用できません。
(スイッチを押すと、警告音「ピッ…」(ピッが5回) 鳴ります。)

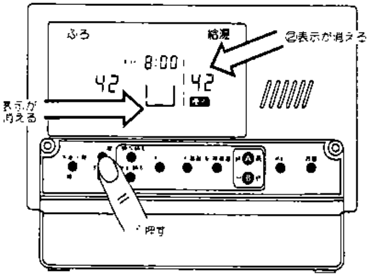
**3** お好みのお湯入れ量になったら

**「たし湯」スイッチを押します。**

- 湯 表示が消え、「給湯燃焼表示」( )(台所リモコンは、給湯燃焼ランプ)が消えます。

[たし湯運転停止の操作をしないときは、約24ℓたし湯し、その後自動的に約30秒間のかくはんを行います。
かくはん後 の表示が消えます。]

- ふたを確実に閉じます。





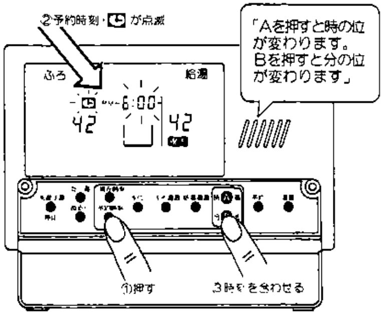

# 使用方法・ふろの予約時刻の合わせ方

- 「運転」スイッチの入切に関係なくセットできます。
- リモコンの表示画面の現在時刻が合っているか確認してください。現在時刻が合っていない場合は19ページを見て合わせてください。
- 予約時刻は沸き上げが完了する時刻です。

**1** 浴室リモコンで操作します。
浴室リモコンのふたを開け

**「予約時刻」スイッチを押します。**

- 「予約時刻」が表示され、時計の数字・ が点滅します。
- 音声ガイドが2回流れます。




**2** 予約時刻を合わせます。

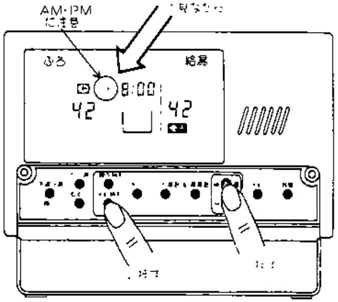
AM (午前)・PM (午後) に注意して押してください。
スイッチを押し続けると連続的に数字が変わります。

**1.浴室リモコンの「時Ⓐ高」スイッチ**を押して**時の位**を合わせます。
**「分Ⓑ低」スイッチ**を押して**分の位**を合わせます。

**2.「予約時刻」スイッチを押します。**

- 時刻表示の点滅が止まり、3秒後現在時刻に変わります。

**3.ふたを確実に閉じます。**



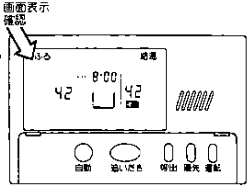

使用方法

# 使用方法・ふろの予約運転

おふろ沸かし予約運転とは
- 予約時刻をセットしておけばその時刻に入浴できるよう、機器が自動でおふろを沸かします。

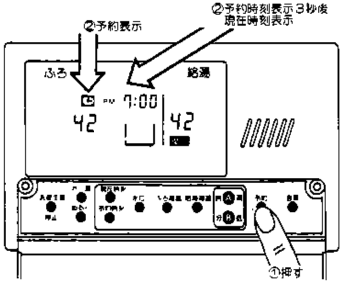
- 浴槽の排水栓がしまっていることとふたをしてあることを確認してください。
- 現在時刻、予約時刻を確認してください。
- ふろの湯温設定・水位設定を確認してください。
- セットした予約時刻は記憶されていますので入浴する時刻が決っているときは予約時刻を毎日セットする必要はありません。
- 予約運転で、おふろを沸かしたときも保温・たし湯動作をします。

**1** 浴室リモコンで操作します。
リモコン画面に
**給湯湯温が表示されていること(「運転」スイッチが「入」)を確かめます。**
- 表示が出ていないときは、「運転」スイッチを押します。




**2** 浴室リモコンのふたを開け
**1.「予約」スイッチを押します。**
- ⏲ が表示されます。
- 予約時刻が表示されますが、3秒後には現在時刻表示に変わります。

**2.ふたを確実に閉じます。**
- 予約表示が表示された後は、「運転」スイッチを「切」にしても、予約運転をします。このとき ⏲ と現在時刻のみ表示されます。
- 予約時刻の約40分前からふろ自動運転が始まり、予約時刻にはおふろに入れます。




水温や浴槽の大きさにより、お湯はり完了時刻が前後することがあります。



**2** ■予約を取り消したいときは
**(1)「予約」スイッチを押します。**
- ⏲ の表示が消えます。(台所リモコンは、「予約ランプ」が消灯します。)
- すでに自動運転がはじまり、自動の表示がされているときは、「自動」スイッチを押します。
自動の表示が消えて運転が停止します。

**■予約時刻を確認したいときは、**
**(1)「予約時刻」スイッチを押します。**
- 予約時刻表示が点滅しますので確認してください。

**■予約時刻を変更したいときは、**
- 「ふろの予約時刻の合わせ方」と同じ操作で変更できます。(35ページ参照)

**ご注意**
- 自動・追いだき・たし湯・ぬるく運転中は「予約」スイッチは、操作できません。
- 予約をセットした後、「追いだき」・「たし湯」・「ぬるく」・「自動」スイッチを押すと予約が解除されますのでご注意ください。
- 停電や電源プラグを抜いたことにより、5分以上通電が止まったあと、再通電したときは、現在時刻や予約時刻が、初期設定時間（現在時刻；AM1:00、予約時刻；PM6:00になりますので、再セットが必要です。（21ページ、37ページ参照）
- 予約した後に停電があると、予約が解除されます。（おふろ沸かしをしません。）

# 使用方法・洗濯注湯/停止スイッチについて

## ■別売品の洗濯注湯システム(36-046型/TP-RV25)を取り付けの際に使用するスイッチです。

● 洗濯注湯システム取付時は洗濯注湯システムの取扱説明書をご覧ください。
万一、「洗濯注湯/停止」スイッチを押した場合は、

● [洗濯] が表示され、ふろ循環用のポンプが15分間運転し自動停止します。(浴槽に水がない場合は、ふろ循環用のポンプが10分間断続運転し自動停止します。)

● すぐに停止させる場合は、再度「洗濯注湯/停止」スイッチを押します。

**ご注意**

● [洗濯] 表示中は、自動・追いだき・たし湯・ぬるく・予約運転はできません。「ピッ・・・・」(ピッが5回) と警告音で知らせます。「洗濯注湯/停止」スイッチを押して [洗濯] 表示を消してください。
● 自動・追いだき・たし湯・ぬるく運転中は「洗濯注湯/停止」スイッチを押しても動作しません。「ピッ・・・・」(ピッが5回) と警告音で知らせます。



# 使用方法・暖房のしかた

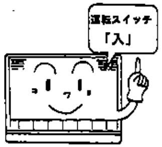
・エアコン、放熱器、床暖房などを使用できます。
・操作は、それぞれの取扱説明書をご覧ください。

## 放熱器の運転 〈ファンコンベクターの場合〉

### 1 暖房運転を開始します。

**放熱器の運転スイッチ「入」にします。**

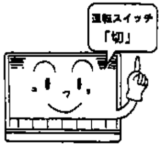
・しばらくしてファンが回り暖かい空気が出てきます。




### 2 暖房運転を停止します。

**放熱器の運転スイッチ「切」にします。**

・放熱器の暖房運転が停止します。




〔お知らせ〕 放熱器に運転スイッチがない場合は暖房スイッチ付の台所リモコンをご使用ください。
放熱器のバルブを開け、暖房スイッチを押してください。

## 暖房中の運転音が気になるとき…

**(静音暖房)**

**1** 台所リモコンの「あつく」と「ぬるく」のスイッチを
**同時に押す。(2秒以上)**

➡ ・静音暖房ランプが点灯します。
運転音を下げて運転します。
(暖房能力は少し低下します。)

**2** 再度、
**同時に押す。(2秒以上)**

➡ ・静音暖房ランプが消灯します。

使用方法

# 使用方法・凍結予防方法

**機器や配管が凍結すると、給湯やおふろ沸かし、暖房ができないばかりでなく、水漏れの原因となります。次のいずれかの方法により凍結による破損を予防してください。**

## 給湯・ふろ

- **通常の寒さのとき(外気温が 0℃～－15℃)は凍結予防装置による方法**
- **異常寒波のとき(外気温が－15℃以下)は通水による方法**
- **長期不在のときは機器内の水を抜く方法**

### 1 凍結予防装置によ[illegible]方法

- この機器には、気温が下[illegible]動的に機器内を保温する凍結予防ヒーターと自動的に浴槽の水(湯)を循環して機器[illegible]配管の凍結を予防する凍結予防装置がついています。通常は機器の電源プラグをコン[illegible]込まれた状態にしておけば、機器内の凍結は予防できます。
- 凍結予防装置は運転スイッ[illegible]入」・「切」に関係なく作動します。
- 浴槽の残り湯は捨てないで、循環口より上まで残しておいてください。

**電源プラグがコンセントに差し込まれていることを確かめる**

> **ご注意**
> - 電源プラグがコンセントから抜かれていると作動しませんのでご注意ください。
> - この方法では、機器内の凍結を予防できても配管は凍結することがありますので、配管は必ず保温材や電気ヒーターを巻くなどの措置をしてください。
> - 次の朝、お使いになるときは給湯栓を開けて、水が出ることを確認してから運転スイッチを「入」にしてください。

### 2 通水による方法

機器本体だけでなく、給水・給湯配管、給水元栓などの凍結予防もできます。

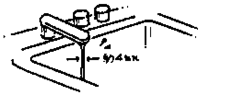
#### 給湯側の凍結予防

**1 運転スイッチを「切」にする**

**2 ガス栓を閉める**

**3 おふろの給湯栓から水を流す**

1分間に約400cc …太さ約4mmを流したままにしておきます。




**4 流れる量を確認する**

流量が不安定になることがありますので約30分後に再度流れる量を確認してください。

#### ふろ側の凍結予防

"凍結予防装置による方法"と同様に、電源プラグをコンセントに差し込んだままにすれば、自動的に凍結予防を行います。

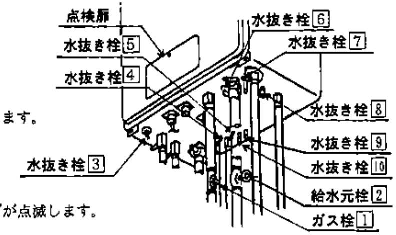
> **ご注意**
> - 家の人に凍結予防のため水を流していることをお知らせください。水を止めると凍結します。



### 3 機器内の水を抜く方法

長期不在等で家の電気ブレーカーを「切」にする場合や電源プラグを抜く場合には、この機器内の水を抜く方法によります。

①ガス栓[1]を閉めます。
②給水元栓[2]を閉めます。
③全ての給湯栓を全開にします。
④浴槽の水を全て排水します。
⑤浴室リモコンの運転スイッチを「入」にします。
▼
追いだきスイッチを5秒間押し続けます。
▼
受付け音「ピッピッ」が鳴り追いだきランプが点滅します。
▼
しばらくすると完了音「ピッピッ…」（10回）が鳴ります。
⑥水抜き栓[3][4][5][6][7][8][9][10]を外します。
⑦電源プラグを抜きます。
以上の操作で機器内の水は排水されますので、次にお使いになるまでそのままにしておいてください。




水抜きを行った後は浴槽に水を流し込まないでください。

> **ご注意**
> 水抜きをするとき、床などに水が流れては不都合な場所では、あらかじめ容器を用意して、水を受けてください。

#### 再使用する場合

①水抜き栓[3][4][5][6][7][8][9][10]を閉めます。
②すべての給湯栓を閉めます。
③給水元栓[2]を開け、水漏れがないことを確認し、すべての給湯栓から水が出るのを確認します。
④ガス栓[1]を開けます。
⑤電源プラグをコンセントへ差し込みます。
⑥リモコンのふろ温度、ふろ湯量、給湯温度、現在時刻、予約時刻を設定しなおします。
⑦機器の水抜きを行った後におふろを沸かすときは、ふろ自動運転を行い、浴槽にお湯張りしてください。（おふろを沸かしながら自動的にポンプに呼び水をするためです。）

> **ご注意**
> - 水抜き栓は、元通りに確実に閉めてください。閉めかたが不十分であったり閉め忘れたりするとそこから水漏れします。
> - 水抜き栓の閉め忘れなどによる水漏れで壁を汚したり、階下を濡らした場合の修理・補修費用は、お客様の負担となります。

# 使用方法・凍結予防方法

## 暖　房

### 1　凍結予防装置による方法

・この機器には、気温が下がってくると、自動的に暖房タンク内の水（湯）を循環して暖房運転（燃焼）し、暖房回路の水を暖め凍結を予防します。回路内が暖まると暖房運転を停止します。通常は機器及び放熱器の電源プラグをコンセントに差し込まれた状態にし、ガス栓を開にしておけば凍結予防できます。
・凍結予防装置は、運転スイッチの「入」・「切」に関係なく作動します。

・電源プラグがコンセントに差し込まれていることを確かめる
・ガス栓が全開のことを確かめる

**ご注意**

・方法は各放熱器によって異なります。再使用のしかたも含め、放熱器の取扱説明書をご覧ください。
・電源プラグがコンセントから抜かれていると作動しませんのでご注意ください。
・この方法では、機器内の凍結は予防できても配管は凍結することがありますので、必ず保温材や電気ヒーターを巻くなどの措置をしてください。

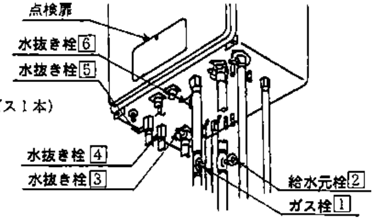
### 2　不凍液による方法

・寒冷地では不凍液を使用してください。適正濃度を保つために1年に一度は、不凍液濃度の点検をお買い上げの販売店または、最寄りのガス会社へお申しつけください。
・暖房システムの凍結予防のために指定された不凍液を使用してください。
指定以外の不凍液は、機器に悪い影響を与える場合がありますので、使用しないでください。
・不凍液の取扱いについては、不凍液の取扱説明書に記載してある方法で正しく使用してください。



### 3　機器内の水を抜く方法

長期不在等で家の電気ブレーカーを「切」にする場合や電源プラグを抜く場合には、この水抜き凍結予防方法によります。
・暖房循環回路に不凍液を使用している場合は、水抜きをしないでください。
・暖房循環回路の水抜きは、給湯・ふろ回路の水抜き後、行ってください。
暖房循環回路のみの水抜きは、行わないでください。




①ガス栓[1]を閉めます。
②給水元栓[2]を閉めます。
③水抜き栓[3][4][5][6]を外します。
④フロントカバーの点検扉を開けます。（ビス1本）
⑤点検扉に貼ってある配線ラベルを参考に、電装基板上の手動水張りスイッチを押してください。
⑥手動水張りランプの点灯を確認後5分程そのままにしてください。
⑦各水抜き栓から水が流れていないことを確認後、手動水張りスイッチを押してください。手動水張りランプが消灯します。
⑧フロントカバーの点検扉を閉じます。
⑨電源プラグを抜きます。

・以上の操作で機器内の水は排水されましたので、次にお使いになるまで、そのままにしておいてください。機器を再使用するときは、全ての水抜き栓を元の位置に付けて閉じ、給湯栓を開け水漏れのないことを確認してください。その後、電源プラグをコンセントに差し込みガス栓を開けてください。

**⚠注意**

・**機器が十分冷えきらない状態で、水抜きを行いますと、熱い湯が出てたいへん危険です。十分冷えたことを確認してから行ってください。**

**ご注意**

・暖房循環回路の水抜きを行った場合は、再び使用するときに水張り作業が必要です。お買い上げの販売店または、最寄りのガス会社へご連絡ください。

## 凍結したときは

・凍結した場合、ガス栓・給水元栓を閉めてください。凍結したまま運転操作をしますと機器に異常が生じる場合があります。運転スイッチを「切」の状態で給湯栓を開けて水が出てくればご使用になれます。
・通水したら、水漏れがないことを確認のうえ、ご使用ください。
・取扱説明書に従った凍結予防の処置をせずに機器や配管が破損しますと高額の修理費用（有料）がかかる場合があります。
・機器や配管が破損し、水漏れで壁を汚したり、階下を濡らした場合の修理・補修費用は、お客様の負担となります。

# 故障かな?と思ったら

## 1度確認してください

ご使用中に、ふだんと違った状態になったときや不都合が生じたときは、そのままお使いにならず、ただちに使用を中止され、十分な点検をしてください。

| 現　象 | 点検項目 |
|---|---|
| 画面に表示が出ない | 電源プラグがコンセントに差し込まれていますか　(20ページ) |
| | 停電していませんか　(10ページ) |
| アラーム番号「032」「542」が点滅(台所リモコンは、「03」「54」と「暖房/ふろ燃焼ランプ」が点滅)し、動作しない | 給水元栓が全開になっていますか　(20ページ) |
| | 断水してませんか |
| | おふろの排水栓はしっかりはまっていますか　(27ページ) |
| 「給湯燃焼表示」(　)「給湯燃焼ランプ」が点灯しない<br>お湯が出ない | ガス栓が全開になっていますか　(20ページ) |
| | 給水元栓が全開になっていますか　(20ページ) |
| | 断水してませんか |
| | 給湯栓が十分開いてますか　(20ページ) |
| 高温のお湯が出ない<br>低温のお湯が出ない | 給湯栓が十分開いてますか　(20ページ) |
| | 湯温調節は適切ですか　(23・24ページ) |
| | 混合水栓やサーモミキシングバルブをお使いの場合は、リモコンの給湯湯温を60℃以上にセットしてください。 |
| 「ふろ燃焼表示」(　)「ふろ燃焼ランプ」が点灯しない | ガス栓が全開になっていますか　(20ページ) |
| | 浴槽に水が入っていますか |
| おふろ使用中に消火した | ガス栓が全開になっていますか　(20ページ) |
| 浴槽の水があつい(ぬるい) | ふろ湯温のセットは適切ですか　(28ページ) |
| 浴槽の水が少ない(多い) | お湯入れ量のセットは適切ですか　(29ページ) |
| 試運転時、設定水位で自動運転が終了しない | 浴槽が空の状態で「自動」スイッチを押されましたか |
| 「ふろ燃焼表示」(　)「ふろ燃焼ランプ」がときどき点灯する | 「洗濯注湯」(残り湯わかす)運転中ではありませんか<br>(ふろ燃焼をON・OFFさせて残り湯を沸かします。) |
| 洗濯注湯リモコンの運転ランプが点滅している | 「自動」「追いだき」「ぬるく」「たし湯」運転中は洗濯注湯できません。 |
| | 凍結予防運転中は洗濯注湯できません。 |
| 洗濯機に入る残り湯が極端に少ない | 洗濯機の水入口フィルターの掃除を行ってください。 |
| 暖房がきかない<br>(ききが悪い) | ガス栓が全開になっていますか |
| | 放熱器の温度設定は適切ですか |

●このほかに異常があるときや、おわかりにならないときは、「浴室リモコンにアラーム番号が表示されたとき」(48ページ)の項目を参照してください。



## 次のような場合は故障ではありません

| 現　象 | 原因と対策 |
|---|---|
| 給湯栓を絞りすぎて水になった。 | この機器は流水量が2.5ℓ/min以下になったときは消灯します。 |
| 夏期水温が高いとき低温のお湯が出ない | 夏期など、水温が高いときに低温のお湯を少量得ようとすると、湯温が高くなります。給湯栓をもっと開いて出湯量を多くすれば湯温は安定します。 |
| お湯が白く濁って見える | これは水中に溶け込んでいた空気が熱せられ、大気圧まで減圧されることで細かい泡となって出てくる現象です。ビール、サイダー等の泡と似た現象であり汚濁とは違ってまったく無害なものです。 |
| 寒い日排気口から白煙が出る | 外気温が低いときには排気ガスの水蒸気が白煙となりますが故障ではありません。 |
| 冬期など寒いとき追いだきのポンプが自動的に動く | 凍結破損予防のため、ポンプの循環運転を行います。 |
| 給湯栓を開いてもすぐお湯が出てこない | 機器から給湯栓までは距離がありますので、お湯が出てくるまでには、少し時間がかかります。 |
| 出湯停止後しばらくファンの回転音がする | 再使用時の点火をより早くするため約30秒間は回転しています。 |
| 自動スイッチを押した後お湯入れがときどき停止する | 浴槽の中に正確にお湯入れするための動作です。 |
| 運転終了後もしばらくポンプが回る | 「ぬるく」・「自動」・「追いだき」・「たし湯」運転終了後、かくはんのためしばらく回ります。 |
| 時計表示が合っていない | 停電後、再通電すると表示画面の時計表示がAM 1：00になります。なお、水位・湯温表示・予約時刻も初期状態になりますので再設定してください。 |
| 保温中ときどきポンプが回る | 浴槽の湯温を検知するため30分毎に回ります。 |
| 給水側の水抜き栓から水が出る | 給水側の水抜き栓は、過圧防止安全装置をかねています。<br>水の圧力を逃すために水が出る場合があります。 |

# 故障かな?と思ったら

## 浴室リモコンにアラーム番号が表示されたとき

- 不具合が生じたとき、その原因をアラーム番号でお知らせします。原因に応じて表示部にアラーム番号が表示点滅し、自動的に運転を停止します。
- アラーム番号が表示・点滅したときは、お買い求めの販売店、または最寄りのガス会社へ修理を依頼してください。そのときは、表示されているアラーム番号もお知らせください。
  (例) 12：15 (時計表示) →１１１ (アラーム表示)

| アラームNo. | 内容 | 処置方法 | 使用状態 |
|---|---|---|---|
| 032 | 注湯時間異常 | おふろの排水栓を確認後リセット | 自動・追いだき |
| 111 | 給湯側点火不良 | ガス栓確認後リセット操作※ | 給湯・自動・たし湯 |
| 113 | 暖房側点火不良 | | 自動・追いだき・暖房 |
| 121 | 給湯側失火 | 修理を依頼する | 給湯・自動・たし湯 |
| 123 | 暖房側失火 | | 自動・追いだき・暖房 |
| 140 | 空だき安全装置作動、電磁弁OFF | | 給湯・自動・たし湯・追いだき |
| 173 | 暖房回路漏水異常 | | 自動・追いだき・暖房 |
| 252 | ふろ水流SW異常 | | 自動・追いだき |
| 311 | 出湯温サーミスタ断線 | | 給湯・自動・たし湯 |
| 312 | ふろサーミスタ断線 | | 自動・追いだき |
| 313 | 暖房サーミスタ断線 | | 自動・追いだき・暖房 |
| 321 | 入水温サーミスタ断線 | | 給湯・自動・たし湯 |
| 323 | 凍結予防サーミスタ断線 | | 暖房 |
| 331 | 混合温サーミスタ断線 | | 給湯・自動・たし湯 |
| 333 | 暖房低温サーミスタ断線 | | 自動・追いだき・暖房 |
| 391 | サーモカップル異常 | | 給湯・自動・たし湯 |
| 422 | 注湯量センサー異常 | | 自動・ぬるく・たし湯 |
| 432 | 水位センサー異常 | | 自動 |
| 433 | 暖房水位検出異常 | | 自動・追いだき・暖房 |
| 510 | 元ガス電磁弁故障 | | 給湯・自動・たし湯・追いだき |
| 542 | エアーパージ時間異常追いだき配管凍結 | | 自動・ぬるく・たし湯 |
| 543 | 暖房回路漏水異常 | | 自動・追いだき・暖房 |
| 561 | バイパス水電磁弁異常 | | 給湯・自動・たし湯 |
| 572 | 往止水弁異常 | | 自動・ぬるく・たし湯 |
| 582 | 戻止水弁異常 | | 自動・ぬるく・たし湯 |
| 611 | 給湯燃焼ファン回転異常 | | 給湯・自動・たし湯・追いだき |
| 613 | 暖房燃焼ファン回転異常 | | 自動・追いだき・暖房 |
| 651 | 水制御弁異常 | | 給湯・自動・たし湯 |
| 700 | 電装基板故障 | | |
| 703 | 暖房ポンプフリチェック不良 | | 自動・追いだき・暖房 |
| 711 | 給湯電磁弁回路不良 | | 給湯・自動・たし湯 |
| 713 | 暖房電磁弁回路不良 | | 自動・追いだき・暖房 |
| 721 | 給湯側フリ・ホスト不良 | | 給湯・自動・たし湯 |
| 723 | 暖房側フリ・ホスト不良 | | 自動・追いだき・暖房 |
| 740 | 台所リモコン通信異常 | | |
| 750 | 浴室リモコン通信異常 | | |
| | 増設リモコン通信異常 | | |
| 760 | インテリジェント基板バーコン通信異常 | | |
| 792 | 切替弁回路不良 | | 自動・ぬるく・たし湯・追いだき |
| 101 | 自己診断能力ダウン | 修理を依頼する | 給湯・自動・たし湯 |
| 991 | 自己診断燃焼異常 | | 給湯・自動・たし湯 |
| 505 | 三方弁センサー故障 | 修理を依頼する (別売品の洗浄給湯システムを取り付けた場合) | 洗浄・自動・たし湯・追いだき |
| | 水量センサーの故障 | | 洗浄 |
| 733 | 36-046型・TP-RV25送受信不能 | | 洗浄 |

＊台所リモコンは、簡易表示のため、アラーム番号の左側２桁を表示・点滅します。給湯側の場合は、アラーム番号と給湯燃焼ランプが同時に点滅します。暖房・ふろ側の場合はアラーム番号と暖房／ふろ燃焼ランプが同時に点滅します。ただし、アラーム番号140 、510 、700 、760 の場合は燃焼ランプは点滅しません。
※リセット操作：「運転」スイッチを一度「切」にし、約５秒後再度運転スイッチを「入」にする。



## ●安全装置の種類とその働き

- この機器には次の様な安全装置が組み込まれています。

**●立消え安全装置**（フレームロッド方式）…バーナーが正常に燃焼しないとき作動し、ガスを自動的に停止します。

**●空だき安全装置**（バイメタル式）…熱交換器が空だきしたときに作動し、燃焼を自動的に停止します。

**●空だき防止装置**（水量センサー・水流スイッチ／タンク水位電極）…熱交換器内に水がないとき、ガス通路を開けず空だきにならないようにします。

**●過熱防止装置**（温度ヒューズ）…機器内部の雰囲気温度が異常に高くなったとき作動し、燃焼を自動的に停止します。

**●過圧防止安全装置**（スプリング式）…機器内の水通路内部の圧力が異常に高くなったとき作動し、圧力を水通路外に逃します。

**●漏電安全装置**（漏電リレー）…万一漏電した場合、電源を「OFF」にする装置です。

**●送風検知装置**（回転数検知方式）…燃焼用ファンモーターが正常に回転しないとき作動し、燃焼を自動的に停止します。

**●凍結予防装置**（電気ヒータ＋ポンプ運転）…機器内の雰囲気温が低下すると作動、機器内の凍結を防止します。

**●誘導雷保護装置**（サージアブソーバー）…雷等による一時的な過電流・過電圧が発生した場合、電子部品を保護します。

### 一口メモ

- この機器の給湯能力は、16号です。
  （１号とは、水温より25℃上げたお湯を１分間に１ℓ出す能力をいいます。
  16号とは、水温より25℃上げたお湯を１分間に16ℓ出す能力をいいます。）
- アラーム番号"101"のときは自己診断機能により給湯能力がさがります。(16号から約12号に)使用はできますが十分な給湯能力が出ない状態ですので修理を依頼してください。
  （自己診断機能とは、機器のガス燃焼が異常になった場合にその燃焼を正常にしようとする機能をいいます。自己診断機能が働いても燃焼が正常にならない場合は自動的に運転を停止します。）

# 点検・お手入れ

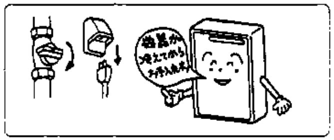
## ●点検・手入れの際のご注意

●安全にお使いいただくために、点検・お手入れを必ず行ってください。

●お手入れの前にはガス栓を閉め、電源プラグを抜き、機器が冷えてから行ってください。

●機器のフロントカバーを外さないでください。
（機器およびリモコンは絶対に分解しないでください。）

分解禁止



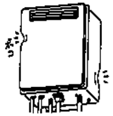

## ●点　　検

●機器および配管より水漏れはありませんか。
水漏れは、機器の故障だけでなく、お隣や階下の方にも多大な迷惑をかけます。

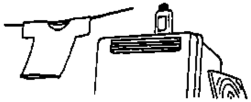
●機器や配管よりガスの臭気はありませんか。

●運転中に機器から異常音が聞こえませんか。

●機器の外観に異常は見られませんか。



●機器のまわり、および排気口のそばに燃えやすいものはありませんか。



●排気口への積雪や、屋根から落ちた雪により排気口が閉塞されていませんか？

禁止

機器が不完全燃焼することがあります。積雪時には排気口の点検、除雪を行ってください。
屋根から落ちた雪が排気口を閉塞するおそれがある場合はお買い上げの販売店または、最寄りのガス会社に連絡し、設置場所を変更してください。

●給湯栓の先端に泡沫器が内蔵されているものについては、ときどき内部のフィルター（金網）を掃除してください。フィルターがつまりますと、お湯の量が少なくなり、点火しないことがあります。

## ●お 手 入 れ

### ●本体が汚れたとき

布または、スポンジに台所用洗剤（中性洗剤）をつけてふきとってください。
中性以外の洗剤やベンジン、シンナーなどでふくと塗料が変色することがあります。
ベンジン、シンナーなどではふかないでください。

禁　止

### ●リモコンが汚れたとき

水をつけた布をかたく絞り、軽くふきとってください。
洗剤、ベンジン、シンナーなどではふかないでください。
（注）台所リモコンには水をかけないでください。
　　リモコン内に水が入り故障の原因となります。
　　（浴室リモコンは防水です。）

禁　止

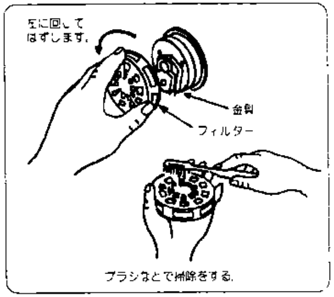


### ●フィルターの洗浄について

●浴槽を掃除するときはフィルターも掃除してください。
フィルターには、湯アカや毛、タオルのくずなどが意外と多くたまるものです。フィルターの汚れがひどいと循環量が弱まったり、ひどいときには追いだきもできなくなります。

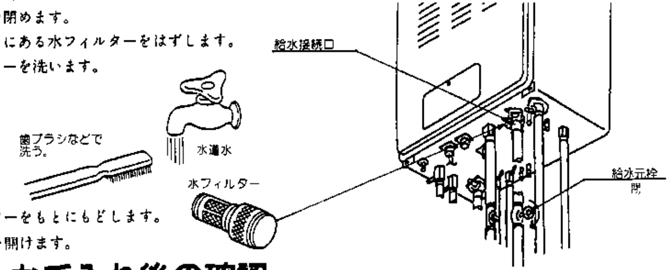
●フィルターはネジ式で固定されており、左に回せばはずせます。

フィルターは必ず取り付けてご使用ください。フィルターをつけないで運転するとポンプ等の故障の原因になります。




## ●給水側水フィルターのお手入れは

つぎの要領で定期的に行なってください。
(1)給水元栓を閉めます。
(2)給水接続口にある水フィルターをはずします。
(3)水フィルターを洗います。
(4)水フィルターをもとにもどします。
(5)給水元栓を開けます。




## ●点検・お手入れ後の確認

●点検・お手入れの後は、ガス栓を開いて、運転スイッチを「入」にして給湯栓を開き、機器が正常に作動していることを確認してください。
万一、異常な燃焼・臭気・異常音を感じられたときは、使用を中止し、ガス栓を閉めてお買い上げの販売店または、最寄りのガス会社へご連絡ください。

## ●定期点検のおすすめ

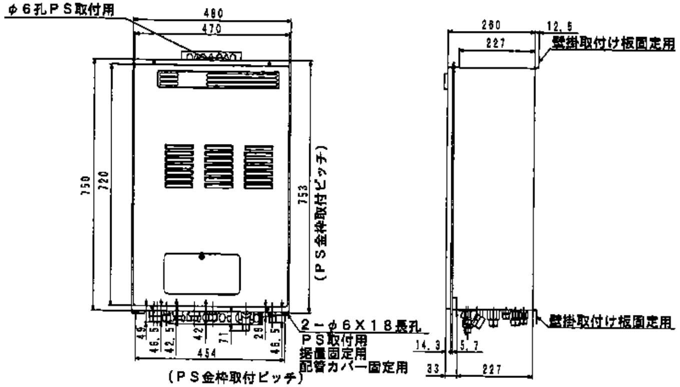
●ご使用上支障がない場合でも、不慮の事故を防ぎ、安心してより長くご使用いただくために、年1回程度の定期点検をおすすめします。お買い上げの販売店にご相談ください。

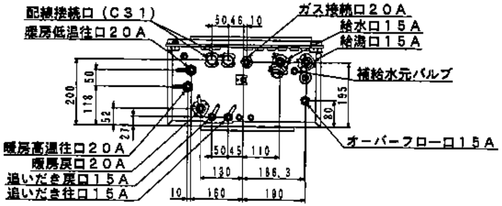
●機器が古くなると熱交換器やバーナーにサビやスス、ほこり等がつまったりします。また取り付け場所によりバーナーに「くも」が巣をはることがあります。このような場合不完全燃焼を起こすことがあり、ときどき使用中に異常（異常音、排気に不快な臭い、目にしみる等）がないか確認してください。異常に気づかれた場合は使用を中止し、ガス栓を閉めてお買い上げの販売店または最寄りのガス会社へご連絡ください。

# 寸法図

## ■機器本体

（単位：mm）



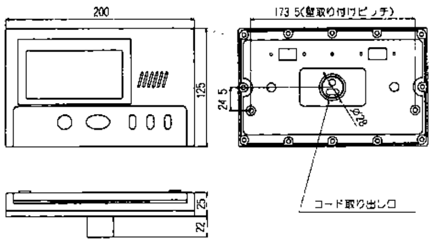




## ■機器本体

（単位：mm）

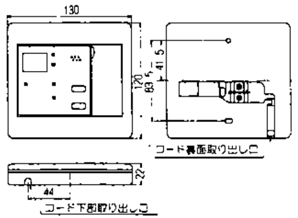
### ■浴室リモコン

（単位：mm）




### ■台所リモコン

（単位：mm）




故障かな？と思ったら、他

# 仕様

## 仕様表

| 項目 | | 内容 | 補足説明 |
|---|---|---|---|
| 品名 | | TP-SPD165AZR-1, 44-120, 44-125 | |
| 型式名 | | TP-SPD165AZR-1 | 定格銘板にある型式名 |
| 種類 | 給湯方式 | 先止め式 | 給湯栓の開閉で点火・消火できる給湯器 |
| | 暖房方式 | 温水循環方式 | |
| | 給排気方式 | 屋外強制給気方式 | |
| 設置方式 | | 屋外設置方式 | |
| 点火方式 | 給湯・暖房 | AC100V連続放電式(ダイレクト着火) | 放電火花による点火方式 |
| 外形寸法／質量 | | 高さ750mm×幅480mm×奥行き260mm/53kg | 給湯器の外形寸法/本体の質量 |
| 水圧 | 使用水圧 | 98.0～490kPa(1.0～5.0kgf/cm²) | 使用できる水圧 |
| | 最低作動水圧 | 19.6kPa(0.2kgf/cm²) | 給湯器が作動する水圧 |
| 最低作動水圧 | 給湯 | 3.5ℓ/分 | |
| | 暖房 | 0ℓ/分以上(締切り使用可) | |
| | ふろ | 4.5ℓ/分 | |
| ポンプ機外揚程 | ふろ | 4.5/6.5m$H_2O$(5ℓ/分のとき) | |
| | 暖房 | 高温側6/8$H_2O$(5ℓ/分のとき)低温側6.5/9(5ℓ/分のとき) | |
| 温度制御方式 | 給湯 | 電子式ガス比例制御およびOFF制御方式 | |
| | 暖房 | 電子式ガス比例制御およびOFF制御方式 | |
| 給気ファン制御方式 | 給湯 | 比例制御 | |
| | 暖房 | 強弱　2段切替 | |
| 消費電力 | | 最大260/295W | |
| | | 凍結予防作動時：最大360/400W | |
| 接続 | ガス | R3/4オネジ(20A) | |
| | 給水・給湯 | R1/2オネジ(15A) | |
| | 暖房 | R3/4オネジ(20A) | |
| | ふろ | G1/2オネジ(15A) | |
| | オーバーフロー | R1/2オネジ(15A) | |
| | 電気 | 本体電源AC100V(50/60Hz) | |
| | | 浴室リモコン2芯、台所リモコン2芯 | |
| 安全装置 | | 立消え安全装置・暖房立消え安全装置・空だき防止装置・空だき安全装置・加熱防止装置・暖房水位確認装置・過圧防止安全装置・ファン回転検知装置・凍結予防装置・水流検知装置・誘導雷保護装置・漏電安全装置 | |
| 付属品 | | リード線一式・浴室リモコン・台所リモコン(両リモコン共、大阪ガス以外は別売品) | |
| BL品番 | | XT-246RSA-AWQ | |

## 能力表

| 使用ガス・使用ガスグループ | | 1時間あたりのガス消費量kW{kcal/h} 給湯・暖房同時使用 | 給湯(最大) | 暖房 | 出湯能力(最大)(ℓ/min) 水温+25℃上昇 | 水温+40℃上昇 | 出湯能力kW{kcal/h} 追いだき | 暖房 | ガス接続 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 都市ガス | 13A | 52.3{45,000} | 34.9{30,000} | 17.4{15,000} | 16.0 | 10.0 | 8.72{7,500} | 14.0{12,000} | 20A(R3/4) |
| | 12A | 48.8{42,000} | 32.6{28,000} | 16.3{14,000} | 15.0 | 9.3 | 8.14{7,000} | 13.0{11,200} | |
| LPガス | | 52.5{3.75kg/h} | 35.0{2.5kg/h} | 17.5{1.25kg/h} | 16.0 | 10.0 | 8.72{7,500} | 14.0{12,000} | 20A(R3/4) |

◎ガス：JIS に規定する標準ガス・標準圧力のとき。
◎出湯能力は、水圧196kPa{2kgf/cm²}のときで、温度を高めに設定し、水と混合させることにより可能となる最大流量の計算値をいいます。
◎本仕様は改良のためお知らせせずに変更することがあります。



# 保管とアフターサービス

## ■長期間使用しない場合

● 長期間使用しない場合は次の操作をしてください。

(1)ガス栓を閉じる。
(2)給水元栓を閉じる。
(3)電源プラグを抜く。
(4)機器の水抜きを行う。(水抜き方法は43ページを参照してください。)

## ■アフターサービスについて

### サービスを依頼されるとき

・46～49ページの「故障かな？と思ったら」の項をご確認ください。それでも直らない場合、あるいは不明の場合には、ご自分で修理なさらないでお買い上げの販売店、または最寄りのガス会社へご連絡ください。
・アフターサービスをお申しつけの際は、次のことをお知らせください。
(1)氏名・住所・電話番号・道順(付近の目印)
(2)品名　例）TP-SPD165AZR-1(ガスの種類：例えば13A)
(3)お買い上げ日(保証書をご覧ください。)
(4)故障または異常の内容(アラーム表示の状態など、できるだけ詳しく)
(5)訪問ご希望日

### 保証書について

・この給湯暖房用熱源機には保証書がついています。
・保証書に記載のように、給湯暖房用熱源機の故障について修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。
・必ず「販売店名・お買い上げ日」などの記入をお確かめになり、保証の内容をよくお読みの後、大切に保管してください。
・保証期間経過後の故障修理については、修理により製品の機能が維持できる場合は、ご希望により有料で修理いたします。

### 補修用性能部品の最低保有期間について

・補修用性能部品(機能維持のため必要な部品)の最低保有期間は製造打切後10年です。

### 転居または機器を移設されるとき

・ガスの種類が異なる地域へ転居される場合は、調整・改造の必要があります。お買い上げの販売店、または転居先のガス会社にご相談ください。
・増改築などのため機器を移設させる場合、工事には専門の技術が必要となりますので、必ずお買い上げの販売店、または最寄りのガス会社へご連絡ください。
・設置場所の選定にあたっては、運転音や振動が大きく伝わらないような場所をお選びください。また、機器本体の排気口から排気ガスや運転音が隣家の迷惑にならないような場所を選ぶなど、ご配慮ください。
・転居、移設にともなう調整や工事の費用は、保証期間内でも有料となります。

### アフターサービス等についてわからないとき

・お買い上げの販売店、または最寄りのガス会社へお問い合わせください。

# お客様へのご案内

この度は、大阪ガスの給湯暖房用熱源機をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございました。

取扱説明書に記載の型式名と、大阪ガスの機器コードの対照について下表の通りご案内申し上げます。

| 大阪ガス機器コード | 型式名 | 台所リモコン<br>暖房スイッチ | 設置方式 |
|---|---|---|---|
| 44－120型 | TP－SPD165AZR | 無 | 屋外式 |
| 44－125型 | TP－SPD165AZR | 有 | |

お客様からの販売店または大阪ガスへの、この機器についてのお問い合わせは、大阪ガスの機器コードをご連絡いただきますようお願いいたします。

（添付の保証書および機器本体上部または下部に、大阪ガスの機器コードを明示いたしております。）

お客様には、大阪ガスの給湯暖房用熱源機を快適に、末永くご愛顧いただきますようお願い申し上げます。

大阪ガス

EK0308

## 大阪ガスのお問合わせ先

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 大阪事業本部 | 〒550 | 大阪市西区千代崎3丁目南2－37 | 電話　大阪 | 06 (586) 1122 |
| 南部事業本部 | 〒590 | 堺市住吉橋町2－2－19 | 電話　堺 | 0722 (38) 1131 |
| 和歌山支社 | 〒640 | 和歌山市本町1－5 | 電話　和歌山 | 0734 (31) 2481 |
| 北東部事業本部 | 〒578 | 東大阪市稲葉2－3－17 | 電話　河内 | 0729 (62) 1131 |
| 北部事業所 | 〒569 | 高槻市藤の里町39－6 | 電話　高槻 | 0726 (71) 0361 |
| 奈良支社 | 〒631 | 奈良市学園北2－4－1 | 電話　奈良 | 0742 (44) 1111 |
| 兵庫事業本部 | 〒650 | 神戸市中央区東川崎町1－8－2 | 電話　神戸 | 078 (360) 3100 |
| 姫路支社 | 〒670 | 姫路市神屋町4－8 | 電話　姫路 | 0792 (85) 2221 |
| 豊岡支社 | 〒668 | 豊岡市三坂町6－57 | 電話　豊岡 | 0796 (23) 2221 |
| 京滋事業本部 | 〒600 | 京都市下京区中堂寺粟田町1 | 電話　京都 | 075 (311) 7381 |
| 滋賀支社 | 〒525 | 草津市西大路町5－34 | 電話　草津 | 0775 (62) 5311 |
| 滋賀東支社 | 〒522 | 彦根市大東町12－11 | 電話　彦根 | 0749 (22) 3131 |
| 長浜営業センター | 〒526 | 長浜市南呉服町3－4 | 電話　長浜 | 0749 (62) 7171 |
| 本社 | 〒541 | 大阪市中央区平野町4－1－2 | 電話　大阪 | 06 (202) 2221 |

**大阪ガス株式会社**

0TSES2